京城日報　二十九日夕刊

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
發行兼編輯人 奧田直毅
印刷人 小川三之介

○石井子米上院に演說

日本特派大使石井菊次郎子は本月三十日米國上院に於て國際的大演說を試むる可し(桑港電報)

○有史以來の大激戰

ヒンデンブルグ元帥の報告

八月十五日より二十五日に至る英佛戰線に於ける戰鬪は瑞西國境より英佛海峽に至る四百三十四哩の長距離間殆んど全線同時に活躍し有史以來の大激戰なりき右に就きて獨逸の輿論沸騰した

▲戰鬪の經過及結果 ろ爲めミハエリス宰相はヒンデンブルグ元帥に報告を求めたるに對し左の返電を接受せりと「英佛が其多大の損害を顧慮せずして今尙吾人を擊破せんと努力せるは潜水艇戰の效果を最も明瞭に語るものなり

▲英國は大兵を擧げ 二回迄我戰線を突破せんと企圖せり此計畫は奏功後潜水艇の根據地を衝くべく强大なる豫備隊を後方に有せること明瞭なり敵軍の强襲は二回共非常なる損害を以て擊退せられたり又

▲佛軍はヴエルダン に對し廿二日第四回の大規模なる攻擊を開始せり我優秀なる砲兵隊の威力は敵軍の砲擊力を著しく躊躇せしめ步兵は敵の突擊隊に對し有功なる逆襲を行ひたり佛軍の得たる所は非常なる損害と荒廢慘憺たる戰線前の地區に過ぎずランス、エーヌ、シヤペニユーに於ける敵軍の助攻も悉く失敗に歸せり今後も小なる局部的成功あるやも測られざるも全戰局に於ける獨逸戰線の擊破せらるゝ憂ひ斷じてなし東方面に於ても敵の大集團は到る所潰走し我

▲同盟國の大領區域 は擴張せられたり此事實より勝利に富める軍隊は假令劣勢なるも優勢なる敵軍に當り得るを事實に於て證明せり要するに各方面とも現在に於ける我軍狀は從來未だ之を見ざる好狀況の下に在り(二十三日ベルン發)

○全露國民大會開催

全露國民大會開會せられ首相ケレンスキー氏以下閣員全部出席せり首相は大會席上露國の現狀が最も憂ふべき危機に在る事を說明して國民の自覺を喚起し擧國一致の緊要なる所以を訴へて反革命者に抑壓を加ふべしと期待さる(露都電報)

○獨逸議會權限擴張

最高委員會の組織

獨逸帝國議會の權限擴張運動功を奏したる結果帝國議會及聯邦會議の代表者各七名より成る最高委員會組織されたり右委員會の任務は獨逸宰相議長となり重要政務の諮詢機關となるに在り(路透電報)

○獨逸和議回答協議

獨逸議會內に最高委員會組織されたり羅馬法王の平和提議に對する回答に就き協議さる可し(倫敦電報)

○獨逸宰相地位危し

獨逸宰相ミハエリス氏の平和反對の主張は議會多數黨の反對する所となり宰相の地位危殆に瀕せり(倫敦電報)

○廣東非常國會召集

廣東に於て非常國會開會せられ衆議院議長吳景濂氏以下議員六十二名出席三三議員の演說ありたり(上海電報)

○黎氏は天津英租界に

黎元洪氏は二十八日天津英國租界に入れり當分同所に居住すべし(北京電報)

○長門起工

吳に於て建造の戰艦長門の起工式は廿八日盛大に擧行せられたり(東京電報)

○學士院長後任

帝國學士院長の後任には穗積陳重博士と內定したる旨傳へらる(東京電報)

○張戴兩氏歸期

來朝中なる張繼、戴天仇兩氏は九月十日前後に歸國す可し(東京電報)

○二百十日奈何

先づ無事か

二百十日に相當する來る九月一日の天候は今日の所にては先づ平穩無事なる可しと觀測さる(東京電報)

○呼子事務官通過

李王職事務官呼子友一郎氏は福岡大學病院へ入院の爲め二十九日朝釜山通過高麗丸にて福岡に向へり(釜山特電)

○米國汽船重役

米國パシフヰック、メール汽船會社船客課長ヤング氏及び同社橫濱支店長キヤムメル氏は二十八日午後九時二十分釜山入港關釜連絡船對馬丸にて來鮮同十一時發列車にて京城に向へり兩氏は京城一泊の上奉天に向ふ筈(釜山特電)

○寺內首相の祝電

東拓宮三面灌漑工事竣工

東拓全南羅州郡宮三面機力用水工事竣工式は既報の如く二十六日を以て擧行され石塚總裁臨場吉村全南長官代理を初め地方の官公吏各地の民間有志多數出席盛況を極め工事の狀況は勿論蒙利地農作物の出來榮へなど所によりては反當り五石以上平均四石以上との評判にて見ものをして愈々感を盛せしむる程の好果を擧げ亦付て苦情の中心人物として會社に反抗せし農民等の主なるものが當日衷心感謝を披瀝して工事に對する感想若くば祝文等を朗讀したる由なるが其の擧式の狀態は直ちに石塚總裁より寺內首相に電報を發したる所首相よりは折返し『貴電拜承御盡力により好成績を擧げられ御同慶に堪へず取り敢へず御祝ひ申述ぶ』なる祝電到達したりと

●滿鐵勅令公布

南滿洲鐵道會社に對する鐵道建設及び改良工事費概算渡の勅令は目下大藏省に於て審議中にして近く其發表を見るべし

●遞信豫算廻附

大正七年度の遞信局歲入出豫算概算は數日前總督府に廻送せし由なるが其の經常臨時兩部の合計歲入出は前年に比し約四十萬圓內外を增加し五百萬圓を出でし模樣にて歲出の增加せしものは新命令航路の補助(日本海橫斷航路乎)にして其他事務の繁忙に伴ふ人員の增加營繕費の增加其他なりと

●明年豫算出揃

大正七年度總督府及び所屬官署豫算概算は數日前全部度支部に出揃ひ目下司計課に於て其の整理を急ぎつゝありと

○平南害蟲發生

平安南道平原郡管內に夜盜蟲發生しの被害あり道に於ては發生と同時に周圍に溝を設け墜落せる者を踏殺し或は驅蟲器を以て捕殺に努めつゝありと

○公園補道工事

京城府土木係にては過般調製せられたる南山公園大設計書を根據とし本年度に於て南山遙拜殿兩公園內に敷設の補道幅員三四尺乃至六尺餘のもの約二千間の道路工事に約一千圓の豫算を投ずるが聞く處に依れば此れが第一著手として三四日中に倭城臺漢陽公園方面二百六十五間の補道工事に取り掛る豫定にて補道の外道路の擴築約四百六十間の修築に約五百五十圓の工事費を投ずる由

○辭令

(二十七日附)

總督府技師 吉岡豪雄
總督府技師 石用完
依願免本官

○朝鮮簡易生命保險

其の實施期は研究中

特殊の制定乎

朝鮮簡易生命保險の實施問題に付責任ある遞信當局は曰く、朝鮮の簡易生命保險に對する

▲遞信局の調査 は一通り出來てゐる、然し其の實施を何日からやるかと云ふ事は總督府の府議がまだ決定しない、從つて實施に關係する豫算の要求を今冬の議會に提案するか否かも全く今の所未定と云ふ外はない、一體保險と云ふ事は貯金などと違ひ之れをセツセと勸めてやらした所で契約者が自ら其の必要を認めず、やらねばならぬ者だと云ふ事を體得しなければ掛金の繼續や成績が面白く行かないのである、鮮人の郵便貯金は先づ年々相當の增加を示してゐるが、果して自ら進んで貯金をする者多きか周圍から勸告されて貯蓄をする者が多いかは篤と考へる迄もなく先づ

▲獎勵の結果が 勝つたと云ふ事になつてゐるやうだ、然し貯金はそれでよろしい、又た出したければいつでも出せる、然し生命保險となれば永續せずに中途で止むるものが多いと契約者も不利だし、總督府としても保險實施上の算盤がとれない、算盤がとれなくても民福增進上非常に必要のことであれば進んでやらねばならぬが、目下の所果してそれ丈け必要であるか聊さか疑はしい、殊に內地で實行したから朝鮮にも直ぐと云ふ事は民度の相違人智の高低を全く問題外に置いた事で慨に贊成し兼ぬるのである、色々な異論はやる、唯其の

▲實施の時期が 何日にするかと定まらないのである、又た如何なる方法でやるかも研究をしてゐる、朝鮮では特殊の制度を設けねばならぬ、どうも內地同樣じや不可ぬのではないか、少なくも貯金の勸誘に總督府が村上唯吉君を囑託してゐたやうに保險勸誘の機關を設ける必要も大にあるやうだ、若くば最初實施の際は官廳の下級者とか工場とかの鮮人團體に對してのみ特に契約をするやうな建前にしておく、其の種の契約は首腦者との間に結べば首腦者が夫々契約者に趣旨を示して吳れるから頗る樂である。かくして實際に於て其の保險の必要を一般に周知せしめ漸次實施の範圍を擴めて行く事とする又保險金額も內地同樣にするか若くば差等を設けるか要するに各案に就き考慮してゐる

○司令官午餐會

松川軍司令官は二十九日午後一時より龍山官邸に於て朝鮮貴族を招待し午餐會を開け總督府側よりは藤波通譯官列席したり

○矢野課長出發

矢野通信課長は金剛山方面通信狀況視察のため愈々三十日午前九時三十分南大門驛發京元線列車にて出發洗浦より內金剛に入り漸次溫井里方面に向ひ元山に陸行して九月十二日頃歸京すと

○堀滿鐵技術局長

滿鐵技術局長堀三之助氏は二十八日夜新羅丸にて內地より釜山著同十時三十分發北行列車にて京城經由大連に向ふ

□歐米視察鎖談

大藏省參事官 杉顯次郎氏談

大藏省專賣局參事官杉顯次郎氏は今回歐米視察を終へ歸朝の途次往訪の記者に語つて曰く

▲渡航の困難 余は昨年八月末橫濱を發し米國に渡り英、佛、瑞、露等の諸國を視察して今回歸朝するものなるが英佛等に於ては我々官吏の旅行さへ頗る複雜の手數を要し且つ非常なる危險を冒して漸く旅行するを得るの有樣なり然かも其結果は如何と云ふに各工場其他門戶閉鎖主義を採り居る爲め得る所甚だ少なし幸に予は米國の宣戰前同國にありしを以て多くは米國に於て有益なる視察を爲したり

▲英佛間交通 目下潜艇の爲め協商側は一日平均二十餘隻を擊沈されつゝあるも尙英米間の往復船は每日五千餘隻あり目下英佛間を一時間餘にて渡航し得るドーバ線は軍隊輸送に專用され普通旅客は五時間餘を費してブラクトンルアーブル線を渡航し居るも夜間の如きは全然消燈してボートを卸し潜艇の出現を恐れて徊々たり英國諾威間の北海航路は絕對秘密に附せられ居り此の間の渡航は我が官憲より英海軍に依賴し其の出發時に於て宣緊するに非れば許可せられず余の乘船は千噸內外の小きものなりしも尙二隻の驅逐艇によりて護衞せられたり

▲交戰國現狀 一般に疲弊困難し居るも尙意地張りて向後何等の特種の動機來るに非らざれば講和の望み殆んど無し英國は既に軍事公債二十餘萬磅を發行し敵潜艇の甚だしき脅威を被りつゝあるも比較的餘裕あり泥繩的ながら最も堅實なり獨逸は今や其國結心頗る堅く總て秩序的に經營せられ所謂獨逸魂は甚だ感服に値するのみならず食糧缺乏等の憂はなきが如し露國は疲弊最も甚だしく一般講和の念盛んなるも單獨講和は不可能なる者の如く從來七大强國の內に重きを爲し居たる同國の現狀は頗る同情に堪へざるものあり

▲貧弱な日本 帝國は近時非常の發達を爲したるも一般產業の如き歐米の其れに比すれば殆んど言ふに足らず將來吾人は眼を全世界に注ぎて益々產業の大成を期せざる可からず(永失)

○揚州郡參事更迭

京畿道揚州郡參事李虎榮氏は今般病氣の爲め退職し後任として張然哲氏任命せられたるが同氏は以前全北高敞郡守たりし事あり

○ヤング氏入京

パシフヰックメール社船客課長ヤング氏は二十九日朝入京朝鮮ホテルに入れり

●菱田氏渡米說聞 菱田通譯官近く渡米の旨記載せるも右は誤聞の廉あり取消す

●平井課長出張 總督府專賣課長平井三男氏は別項所載蔘業組合定期總會に臨席の爲め三十日朝出發開城に出張す可し

●兒玉技師退京 鐵道院技師兒玉氏は京城管理局事務を視察し二十八日退京せり

○專修生滿洲行

仁川商業專修學校生徒は教員二名引率の下に三十日夜仁川發の江原丸にて滿洲視察の途に上る筈(仁川)

○倫敦留價下落

二十八日長春に於ける圓對留相場は三百零一留に下落し之れを前日の二百八十三留に比すれば一擧十八留の暴落を見たるが倫敦に於ける留相場に付二十九日某所入電によれば金十磅對二百三十八留にして前日より九留の下落となり居れり其の理由は同國內政狀態前途の悲觀より來れり

○紡織問題經過報告

仁川商業會議所にては二十九日午後七時三十分より評議員會開催委員より紡織會社に關する運動の經過報告ありたり(仁川)

○海運界の近況

驚くべき昂騰

海運界の標準相場たる門司濱石炭運賃の激騰驚くべく之を戰前に比較すれば十二倍半の增率にして昨今運賃の大なる近海及び米航に比して內地沿岸航路は餘り昂界のバロメータたらざるかの奇觀あるも門司濱運賃の十二倍以上に昇騰せるは炭價の將來と相俟つて近來のレコードといふべし外航は米航を以て運賃界の花形とせる觀あり濠航之に次ぎ從て傭船料の昂騰は天井知らずの活況なるが目下米航四十五圓近海三十七圓の手合は一般の標準となりつゝあり又運賃も奔騰せるが何れ九十月以後に於て更に增率を見ざれば止まざるべし右の如くなるを以て船價及び傭船料の奔騰は當然にして最近標準相場も七百圓と評價して可なるべし要するに開戰以後の船價及び傭船料の昂騰は驚くべきものなるも運賃の騰貴率より見れば採算上船價は割安なりと(大阪)

○鞍山站製鐵

立山新市街建設　其後

滿鐵會社の鞍山站に於ける製鐵事業の經營に關しては其後鐵材暴騰の影響を受け且つ近來米國に於ける鐵類禁輸の結果熔鑛爐を始め其他必要鐵材の蒐集に一大困難を來し且つ所定の經費に大なる違算を生じ從つて既定計畫の進行意の如くならざるやに傳ふるものあるも今當事者の語る所に據れば大體の必要鐵材は既に購入を了し居れるを以て事業の進行上何等支障を來す惧無く熔鑛爐は明年夏中には完成の運に至るべく其他諸般の施設は目下著々進捗し居れば第一期の計畫に屬する部分は豫定通り大正八年に至らば全部竣工の上十五萬噸の製鐵能力を充分に發揮し得べしと而して右製鐵事業經營施設の進捗に伴ひ經營せらるべき

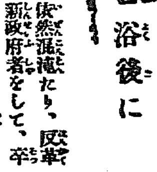
▲立山新市街建設 計畫も亦近時大に進行せり即ち新市街地の位置は現在の立山停車場より南方約二哩の箇所を中心として大停車場を新設し其停車場を中央に鐵道線路の兩側に沿うて一大市街地を建設し社員職工及び其家族一般公衆を合して約十萬の人口を包容する都市たらしめん計畫にて先づ本年度の事業としては本社直營社宅三十戶の建築を始め滿洲興業會社をして社宅百五十戶の建築を爲さしむべく夫々交涉を了し居れるを以て近く契約の上直ちに工事に著手の筈都合によりては約百名を收容し得る宿舍をも建築すべく目下設計中なるが尙立山市街建設準備係に於ては一般希望者に對し土地を貸下げ家屋の建築を爲さしむべく其他は豫算の許す範圍內に於て漸次家屋を增築し大正八年度を以て第一期全部完成の豫定なりと

▲新停車場は鞍山 驛と名命する由にて現在の鞍山站驛は千山と改稱して其儘存置すべく又現在の立山假停車場は將來其儘存置せしめ專ら礦物及び製鐵材料の搬出入に使用する方針にて目下種々の設備を急ぎつゝあるが近く更に延長十五間に亙る線路橫斷地下道を開鑿して構內往來の便を圖るべく其設計中なりと

●訂正 二十九日朝刊一面矢野通信課長談「通信時言」中の度量衡と朝鮮中「一日百圓」とあるは一月百圓の誤植、又郵便局支店中郵支店とあるは該支店の誤りに付正誤す

人事消息

▲後藤晴造氏(妙心寺派朝鮮布教監督) 大邱より出張中の處二十九日歸山
▲柴田才一郎氏(愛知縣立工業學校長) 二十九日朝入京山本旅館へ
▲關屋三郎氏(同縣立第一高等女學校長) 同上
▲松井民次郎氏(平壤興業家) 同上
▲柳井松藏氏(鎭南浦久原精錬所買鑛課長) 同上
▲橋口勇馬氏(陸軍少將) 二十九日夜退京
▲金川萬壽吉氏 二十八日來京
▲子爵李根澤氏 二十九日朝水原より歸京
▲釜屋海軍少將(鎭海府武官) 二十八日仁川より歸京
▲呼子友一郎氏(李王職事務官) 二十八日夜下關へ赴く福岡醫科大學病院に入院すべし
▲永野晉司氏(鐵道局課長) 郷里大分に歸省中の處二十八日夜歸任したり
▲コリー十氏(英人宣教師) 二十八日夜入京平壤へ



浴後に

○露國政界は依然混沌たり、反革命派の勃興は、新政府者をして、卒然たらしむ。眞に國家興亡の岐るゝの秋也。此の時、此の際、リガの守備破れて、獨軍露都を窺はんとす。內憂外患重ねて來る、其の前途や益々暗憺たり。寒心に堪へざる者、豈吾等のみならんや。

○英國民の、飛行機を獻納する者四百三十七臺に及ぶと。我飛行界の貧弱を嗤ふ者は、宜しく英國民に鑑むべし。殊に成金の輩が、好散財たるは、云ふ迄もなし。

○近時華冑界の教育に就て、議論あるを聞く。學習院女學部在學の某男爵令孃、割烹の時間に、栗の皮の剝き方を知り居れりとて、校中の評判になりしと。以て所謂姬樣達の常識を測るに足らむ。吾等何とも申條なし。

版 時間表 (南行) (北行) 線 [illegible]

●故郷戀しさに泣くか

◇◇◇馴れぬ仕事が辛いのか◇◇◇

▽大阪の紡績工場に働く朝鮮女工達
▽試驗的に使つて見た成績は却々い

職工拂底に苦しめられて居る各工場では盛に勸誘員を各地方に派遣して募集に努めて居るが地方でも矢張り都會の各工業が隆盛であるに連れて地方産物の製産が又盛で

◆相當金儲け の道が在るため甘程好餌で引出そうとしても容易に應募して來る者がなく何れも頗る手古摺つて居る就中尤も多く女工を使役する紡績會社などは最早內地の女工募集を斷念してソロ／＼朝鮮人女工を試驗的に使つて見やうと云ふ傾向になつて居る數ある紡績の中でも率先して

◆朝鮮人女工 を連れて歸つたのは野田の攝津紡績支店で引續き使役して居るが成績は可成り良い方だとの噂がある、ソレに倣ふて今度合同紡績會社の天滿支店でも女工三十九名と男工八九名の朝鮮人職工を引張つて歸り試驗的に使つて見て居る、若し成績が可成り良いとなれば至難な

◆內地の女工 募集を全然止めて仕舞つて朝鮮人職工を多く募集する積りだと云ふ今度來た朝鮮人は悉く素人で中には實際小さな機械の働きを云ふものさへ見た事もない者が交つて居ると云ふ同社ではその年齡に應じて打綿、練篠、粗紡、精紡、綛部等の各部に割つて使つて居るが、何分アノ轟々と鳴る

◆機械の音響 と綿埃には少からず閉口して居る有樣で男は重に工女とは別な梱綿部に使つて居るが偶々工場內で邂逅した時などは男女互ひに相擁してサメ／＼と泣いて居る時があるこれは馴れぬ仕事が辛いのか但しは故鄕の事でも思ひ出して居るのか、其應場合には他人目も何も在つたもので無い、只ワー／＼と號泣して居ると云ふ同社では一般寄宿工女とは別の

◆部室に收容 し食物なども比較的朝鮮人の嗜好に適するやうな物を選んで食はして居るが漸次普通女工の食物と同一の物を喫はす考へだと云ふ、若しこの朝鮮人職工が內地職工に劣らぬ能力のあるものと極れば工賃は安し內地職工のように生意氣な事も云はず使ひ易いから夥つて朝鮮人を使役するようになるであらうと云ふ者もある現に角園岡縣か何處からか內務省に許可した結果

◆朝鮮幼年工 には工場法中の幼年工取締規定を適要しないと云ふ事になつたとかで幼年職工の必要な硝子工場では朝鮮から十三四の職工を募集しようとして居る（大阪特信）

●奥羽線の貨物列車衝突

機關車貨車五輛破損

二十八日奥羽線秋田驛にて貨車衝突し車掌一名同乘者二名負傷し機關車二輛貨車三輛破損したり（大阪特電）

●動物虐待防止

愛知縣が縣令で

愛知縣にては縣令を以て動物虐待防止の件を發布したり（大阪特電）

●富山縣下に虎列拉發生

大阪の防疫準備

富山縣管內に虎列拉患者四名發生し又た石川縣にも一名の同患者發生せりとの報に接し大阪市にては防疫準備中なり（大阪特電）

●出來ない相談

唯水を節約して貰ふ外は無い

—水道當局は京城水道の設備に就て曰く—
◇◇凉しくなつても濫費すれば直ぐに斷水

京城水道にも隨分非難があるが當局が有る水を出さぬのでは無くて現在の設備では奈何せん漢江の豐富な水源は眼前に控へて居ても之を取水して府民に供給する丈けの機械の設備が出來て居ない其れに人口は殖ゑると云ふ京城、

◆使用水量 は多くなると云ふ京城、都市の發展は有つても水道ばかりは今から六七年も前のこと英國人から買收した當時の給水能力に依然變化がない、其れに炎天が續く時に限つて水の濫用者が多くなる尤も暑いから凉しい水を餘計使ふのは常然の樣だが其れは充分水に難儀はせぬと云ふ見當が付いてからの話、どうかすると放事

◆飲料の水 にも不足しやうとして居る位な給水能力しかない水道を持つて居る京城市民には兎角水の濫用は禁物にせねばならぬ左樣しないと僅か四十五萬立方尺の能力では送水喞筒が破裂する樣にエンヂンを働かせた所で到底追付かない機械の能力には自から制限がある。それぢあ汽罐の一つ二つ位增設したらよからうと云ふ人もあるだらうすると動力は出來ても喞筒が

◆承知せぬ 喞筒を改造してもまだ承知しないものがある其れは送水鐵管で動力が增して喞筒が直つても其れから吐き出す水量壓力に適應する鐵管でない以上どうしても水の壓力で鐵管は直ぐ破れるに決まつてゐる。そうすると鐵管も架け替へなければならない即ち凡そ機械の連鎖と云ふものは此んなもので一部分丈改修した位で苟くも給水能力を增す事が出來る事なら經費も少くて良いし比較的やり

◇易い仕事 だが京城水道設備はやり替へ樣と掛れば全然根本から改築しなければ給水能力を增すると云ふ樣な事は出來ない運命に在るものだ先づ英國人最初の設計が惡かつたと謂ふより外仕方がないのである。能力四十五萬立方尺の水道と分つて見れば京城市民は決して水の贅澤な使ひ方は出來ない境遇に

せる亦已むを得ない次第だ昨今夜間斷水を中止した樣だが是れから引續き

◆夜間通水 と思つてると當が外れるかも知れない昨今漸く配水池の水位に恢復を見て居る所で之れも二三日凉しくて雨模樣の爲に使用水量が少かつた御蔭に外ならぬ炎天になつて水をどし／＼使はるれば矢張り仕方がない斷水となる譯である。

●不貞の妻姦夫の爲に滅多斬り

▽加害者は疏水に投身

二十九日朝京都下京區本町廿二丁目伊藤德太郎方にて三重縣生れ北河藤松（三九）は豫て道ならぬ契りを結べる情婦同區骨屋之町正面上る田村藏次郎の妻みよし（三）を出刄庖丁にて滅多斬りにしたる上己れは疏水に投身せしを救ひ上げられ捕縛せられたり（大阪特電）

●鑛山を種に詐欺

市內永樂町一丁目百八十九番地朴敏道（四三）同彰井洞五十九番地鄭寅琥（三九）の兩名は共謀して咸南安邊郡培花面水臺里二統十戶李大鏞を欺き鑛山調查費と稱し前後三回に金八十圓を騙取せしため李大鏞より鍾路署に訴へ出でしを以て取調の結果二十八日檢事局へ送らる

●惡習慣

稼ぎ溜めれば飲み、奕つ、休む

鮮人勞働者惡智慧を付けられて荐りに同盟罷業を起す惡い傾向

內地工業界の隆盛に從ひ勞働者の不足を來せし爲め比較上賃銀の低廉なる鮮人勞働者を誘致すること近時盛んにして釜山出港連絡船及び商船等各航多數の出稼者を搭載し往く有樣なるが其れが爲め從來釜山に於て勞働に從事せし鮮人は賃銀の高率なる荷役に使用する人夫の如きは

と誘致者の甘言に乘せられ續々內地に向ふ者增加し且又臨時入港船の如きは

▲賃銀の高率 を仕拂ひて定傭人夫を誘引し荷役を行ふ等のこと多く現に鐵道院に於て連絡船の積卸荷役に使用する人夫の如きも漸次不足を告げ之れを補ふ爲め傭入るゝ人夫は何れも仕事に不馴れなるより荷役捗取らず困難せる趣なるが昨今に至りて彼等人夫は時々同盟罷工を企て請負人に對して賃銀の割增を强請し不當の要求を爲すことありて鐵道院にても少なからず迷惑を感じ居れる由從來

▲連絡船荷役 に使用する人夫は釜山澤山商會の請負供給に係り個數に依り仕拂を爲すの方法を採り居れるものにして現在二百四五十人乃至二百人內外を草梁荷揚場、船內、棧橋の三箇所に分配し從業せしめ居り一人當り約六七十錢より時には一圓以上の日當を得るに拘はらず彼等の習慣として少しにても稼溜をなさば休業をなし飮酒賭博に耽る無頼の徒多く又た彼等

▲仲間を煽動 して斯かる行動を採らしめ餘儀なく增給せしむる惡癖も少なからず請負人側にては斯かる場合に限り不當の要求を止むを得ざる場合に應じ居たるに彼等は益々增長し現に廿五六兩日の如きは一同寄場に集合して從業を拒み又々賃銀の値上を要求したり漸やくにして幾分の割增を行ひ從業せしめたるも斯くては單に供給受負者の困難のみに止まらず鐵道院又

▲迷惑を蒙む ること尠なからざれば此際請負者と交涉協議の上從來の賃銀より約二割の增給を與へ尙彼等勞働者を煽動するが如き奸惡の徒に對しては警察署に於て營業妨害として相當の制裁を加へられんことを要求する事となりたり尙ほ朝鮮鐵道に於て使用する人夫も同樣の狀態にて此れが請負者たる內鮮通運會社釜山支店に於ても幾分賃銀の値上を行ふ可く取調べ中なりと云へるが同社使用鮮人夫は何れも日給にて一圓二十錢、一圓、六十八錢の三種に區別し給與し居れりと（釜山）

●五十三年間の僧侶生活（四）

▲辛酸を甞めて修業

金石翁のものがたり▼　秦　晖　星

私はな『そして老師は今まで佛書を書かれるんですか』と聞いた。するとね『いゝね、もう筆を棄てゝから二十何年になります』と答へる。『それは何ういふ原因からです？』と、止めた原因を聞くと『エ、私はそれから少つと佛書ばかりを書いて居りましたけれども、丁度二十年ばかり前の事ですが、この釋王寺は殆んど廢れて、見る影もなくなつたのです。その時私はこれではならないと思つて、斷然綸筆を投げて了つて、二十年以來、釋王寺復興のために働きました。それは隨分辛い事でしたよ。第一、寺の財產を整理するには色々な關係から、京城の役所に往つて交涉もしなくちやならないし、又た貴顯連にも逢つて打合はせもして置かなくてはならなかつたのですが、御承知の通り、その時分は坊主はあまり京城に出入りの出來なかつた時でしたからね。京城の門を入ると一丁ばかり往つて巡檢に睨まれ、又一丁程往つては憲兵に咎められまして、その困難といつたら、とても／＼話し盡せません。さういふ風に困難を冒しながら、一々尋ねて步きましたけれども役所では何とかかとか云つて受付けて吳れないし、また貴顯連も中々逢つて吳れゝばこそ——一寸一例を上げて見ても、其は近年の事ですけれども、村上龍佶さんを尋ねて往つて、十八回目にやつとの事、一寸逢ひましたからね——昔の大臣方だとか、その他貴顯の方の事は押して知るべしですよ。そしてやうやくの事、釋王寺をこれだけにさせましたが、丁度半年ばかり前から病氣に罹つてかういふ風に毎日の樣に痩せて參ります『しかした』と心配なのは後を繼いでやつて吳れる者がありません、全く人材がありませんのでね！』と、寺に人物のないのを歎息する『して今あゝいふ風に病氣をしてゐられると、隨分今昔の感も起りませうね！』と私は問いた。

讀者文藝（一等に五十錢賞券を呈す）

▽川柳『安』●

○安堵の手紙で湯女は鼻をかみ（一等）　龍山　岡本　小草
▲安堵とあつて眾子は皮肉也　水原　進金　五韻
▲安心が成功の字へ紳をひき　京城　九日　坊
▲孝行者金釘流に安心し　京城　任　史

●募集課題及募集規定
▲用紙は端書又は同形の洋紙（一枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲締切は一週間後▲種類の異る作に用紙を更ふる事▲都ても一種二句以內の事 [illegible]

●病夫姦夫姦婦を殺害す

[illegible]氣になりしに嫉氣を起し兄の許へ歸り同居人なる北野保己一（三五）と不義をなせしことを夫の芳太郎が知り同[illegible]

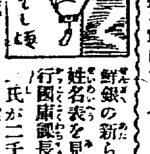
[illegible]視永野消氏は歸省中の所二十八日朝入港連絡船高麗丸にて釜山上陸同十時三十分發列車にて歸任せり

同姆、內野仙治、渡邊仁平、柴山一郎、尾崎山馬、小林静江、大塚謙平、土屋誠、同科子、同榮一、同正二、同千代子、佐藤孝治、同菊子、同桂子、同智一郎、古谷しづ子、同こと糸、同みね子、渫永彥四郎、同正夫、同北男、同史郎、中川いそ、佐藤久太郎、佐藤信太郎、[illegible]

[illegible]（三等三十四名）九一二等客 [illegible] 廿八日午後九時二十分釜山入港對馬[illegible]

天氣 曇り時々晴れ（廿九日午後六時迄）▲八月三十日 [illegible]

滿潮 仁川 釜山 [illegible]



鮮銀の新らしい株主姓名表を見ると、同行國庫課長飯泉幹太氏が二千三十株と云ふ大株主になり、頭から七番目、內藏頭より三十株も多く、李王職長官より千六百三十株餘計だ▲大した勢ひ、然も其の株が皆新株だから此の九月の拂込みには、五萬五百五十圓も出ねばならない▲から身代が俄に彭だのを刷物にしちや、差し向き慈善會が毒々押寄するだらうと、同氏に訊ねて見ると▲眼鏡を光らし乍ら語る、僕も此の春低に成金になつてね、十餘萬圓を出し銀行の新株を二千餘株應募したよ▲併し仲々勉强する行員が多いから、近い內に夫々分けてやる積りだ▲メートルが仲々上つてゐる、いくら銀行の高級行員でも少し景氣がよすぎる哩、と思つて探つて見ると、ナーンだ▲飯泉氏は出資の委員として、鮮株高嶋東京に行つてゐた▲で鮮銀行員中新株の應募をやる者は別なじや手數が大變だから、飯泉氏を代表者として便宜申込みをしたのである▲何でも銀行じや、鮮銀株の應募や買收のためら、其の行員の積立金を出してもよい事にしてゐるらしく、今度の新株には積立が可なり出て二千株以上行員の應募があつたのださうな▲飯泉氏は其の名代として名前だけを出してゐるのだ

●撞球界革新 京城

その魁として理想的競技會開催

—卅一日よりエビスにて—

本町一丁目サツポロビヤホール、カフェーエビス撞球場にては豫てより內部の改築擴張中なりしが此の程漸く竣成したるを以て之れが披露の爲め來る三十一日、一日、二日の三日間同場に於て玉突大會を催すべしと云ふ尙從來の競技會は兎角賞品の獲得を目的とし競技者の射倖心を挑發する傾ありしが本會は賞品を第二とし專ら競技者の技倆を戰はすを主眼とする由にて賞品の如きも一等價格金五十圓より以下十等迄とし全部三越商品を取揃へ開會當日會場に陳列すべく又最優勝者には名譽の彰表としてサツポロビール會社よりルビー異珠を鏤めたる優美高尙なるメタルを贈呈すべしとの事なれば苟も棒を手にする人士此の機會を利用して各自其の技を戰はさるべし

商況

債券現物特電（東京二十九日出來値）

東拓債 七八、〇〇 / 京城 — / 朝鮮銀行 — / 朝鮮瓦斯 — / 南滿鐵道 一四五、〇〇

東京公債直取引（特電）

二十九日出來値 五分利 九六、七〇 / 甲號 — / 五分利 八一、六〇 / 四分利 — / 二十一四分 九六、六〇

深川在米特電

二十九日現在高 朝鮮米 七三、九四 / 臺灣米 六二、八四 / 內地米 一八九、八〇四

東京期米特電

二十九日前場 十月限 寄付 二一、二四 / 高値 二二、四 / 安値 二一、二〇 / 止め 二二、〇〇

大阪株式

銘柄	拂込	二十八日前場
宇治川水	三〇、〇〇	—
京阪電鐵	三〇、〇〇	—
東洋紡績	三〇、〇〇	二四〇、〇〇
合同紡績	二〇、〇〇	二〇一、八〇
鐘淵紡績	二〇、〇〇	二九一、八〇
同上新株	一〇、〇〇	二五九、〇〇
東洋紡織	一五、〇〇	一八〇、二〇
大阪商船	三〇、〇〇	二六一、二〇
日本郵船	三〇、〇〇	四三、一〇
同上新株	一〇、〇〇	二七五、七〇
堂島米穀	二五、〇〇	二五三、四〇
東京株式	一二、〇〇	二〇二、一〇
東京新株	一〇、〇〇	—
大阪株式	一〇、〇〇	三六八、二〇
大阪新株	一二、五〇	—

大阪三品特電

限月	二十八日前場	
九月限	三〇〇、〇〇	二九八、七〇
十月限	三〇六、九〇	三〇五、〇〇
十一月限	三〇二、〇〇	—
十二月限	三一一、〇〇	三〇二、〇〇
一月限	三一〇、四〇	二九八、〇〇

大阪期米特電

限月	二十九日前場
八月限	三〇一、〇〇
九月限	三一一、〇〇
十月限	三二〇、四〇
十一月限	三一三、〇〇
十二月限	三〇五、〇〇

下關期米特電

二十九日前場 先限 寄付 二二、二六 / 高値 二二、八四 / 安値 二三、八三 止

雜報

●綿糸底入乎（大阪三品）落後の二十八日は[illegible]

●漸く灰汁抜けの新甫發會後は多少人氣も引立つ

●板紙百二十圓 新高値に達す 尙跡高の見込

●絹織物一齊安

●一齊に崩落 關東地方の如き平年の一倍に達した箇所

●一二三割方の暴落を的騰落の値巾 加工品は比較（少きも其影響）

●哈爾賓滯貨こ輸送

●毛斯綸反落 九十錢臺に下到

●織立ての增加

●染料値上行惱み

●撈寸は荷動閑散

●四圓處を報せられつ 大阪にて四十

●內地醬油高報 約一割方を引上 四圓五十五錢

●早晚値上

下關相場

[illegible]

京城正米

[illegible]

南大門の廻穀

[illegible]

釜山穀物（廿八日）

[illegible]

生魚市場

釜山水塲市産（二十八日）▲入船數一百十五隻 [illegible]

仁川期米

▲二十九日前場（合保） 二十一圓七十七錢 不勢 先十九圓十五錢 [illegible]

▲當限納會 發會も最安

市場零聞

[illegible]

確實 迅速 廣瀬正次郎 仁川 取引所仲買人

仁川米豆取引所

二十九日の十月限

前場	
寄付	十九圓十五錢
止め	十九圓十二錢
高値	十九圓十一錢
安値	十九圓十三錢
出來高	一萬三千石

平均値段	
一節	十九圓十四錢
二節	十九圓十三錢
三節	十九圓十三錢
四節	十九圓十二錢
五節	十九圓十二錢

賣買取組高 八月限 一萬四千石 / 九月限 五千百石 / 十月限 十萬六千九百五十石

白米標準値

二十三圓三十錢

小賣白米

現金賣 一等白米 二十四錢五厘 / 米 二十四錢

大五仲買店 仁川米豆取引所仲買人 仁川海岸町三丁目 店主 猪飼政太郎 電話三〇九番 長九一三番

田中金兵衛商店 仁川米豆取引所仲買人

▲當限受渡高 十九圓二十錢を以て無事納會 一萬九千六百石

▲受渡し內容

▲更に動かず

▲新動機待ち

■■の一人[illegible] 大阪市西區池山町菅藤太郎妹要子(二三)は神戸大海通り菅芳太郎(三二)の內緣の妻となりしところ芳太郎が病[illegible]て殺害したるより芳太郎は警官の手に逮捕せられたり(大阪特電)

◎永野鐘路署長留任 京城鐘路警察[illegible]

◎連絡船上陸客 二十八日午前八時釜山入港高麗丸 二三等客 一等(十五名)英國人十名、柵野田太郎、田村吉[illegible] 二等(六十八名)[illegible]

月下の舟行 (漢江鷺梁津里江流にて)

絶景！

玲瓏たる明月に更らに情趣を添ゆ山容江姿 月光を浴びて行程十哩川恍惚たらしむる窓外の眺望

本社主催の觀月會の噂は到る處で歡迎になつて來た日本麥酒會社の四百名の團體申込と共に十八二十人の團體申込が續々來る團體の內には更らに興を添へん爲め種々の餘興も窃かに計畫せられつゝある殊に家族近隣の同伴者が多いのは此の會の家族的である事が證證せられて嬉しい其處で

🙤觀月行の道順を紹介せんに先ず午後の八時南大門驛を奏樂隊の賑はしい樂音に送られて出る龍山驛迄は普通の如く汽車は走せる同驛を出ると徐行になるアカシヤの陰暗き鐵道公園に沿うて進むと月光を浴びて忠魂碑が高く聳ゆる右方は一面の大砂原で淋しく照す月の光に充分に秋の情趣が湧く西氷庫に著くと最う大漢江岸に出る白銀を延た樣な大江の流れ魔の如く聳ゆる冠岳其の裾を繞る連山は怒濤の樣に雄壯な山の姿と平和な江流と崇高な月の光と其の自然美は

🙤人をして恍惚たらしむる者がある西氷庫を過ぎ鑄城里の部落を經て普光里を出ると景色は更らに佳くなる漢江里から豆毛浦の間は恐らく江岸唯一の眺望であらう右は江流左は風雲雨打山骨稜々たる山で而も其れが削られた樣な巖々として一大偉觀である窓外遙かに

🙤水晶板を敷た樣な江上を越ねて蠶島の平野に對し渺茫の間に南漢山を眺むる明月玲瓏として天心に輝き江風襟に入つて千鳥の聲を聞く時は何人でも心から自然に化せられぬ者はなかろう豆毛浦から響時する汽車は江流を名殘惜しき袖を別ち汽車は平野を進む其の轉回する窓外の眺望は蓋し此の行を共にする人でなければ決して味はれないのだ鷺島驛からは松樹茂る小山を越ね北漢の山脈は

🙤魔の手を掲げた樣に冲空を壓する三角山峰の奇なる道峰山脈の稜怪な色は一層眺望を興あらしむるのである間もなく清涼里に著す明月は軌道を照して銀蛇の行くが如く密林を越ねて落水の峻峯は王者の樣に四方を壓して天に冲する平生ならば清閑な清涼里驛も一行の爲に盛觀を呈するのであらう

●高島北海翁の審査員辭職

美術院の觀山氏文展に入るか

下村觀山氏の文展入りは煮わ切らぬと相も變らず、文部省側では正木主事が値りかけで觀山氏を擁護に訪ねて以來毎日早朝より

🙤文相首め 田所次官松浦專門局長、正木主事、加之態々信州上林より寺崎廣業畫伯、川合玉堂畫伯等文部省に出席參加し鳩首審査委員人選の協議に就り居るが、一方美術院に於ても若し觀山氏文展に趣らんか觀山系統とも云ふべき木村武山氏を筆頭として安田靫彦、前田[illegible]

🙤新進氣鋭の動搖を醸すを知れず、ご兎角紛擾の紛々たる昨今、文部省に於ても稍觀まりかけたるもの、如し審査委員長は例の次官多分承認すべく第二部(洋畫)委員の顏觸は先づ異動無かるべく第三部(彫刻部)も多少木彫側に紛紜を生じ居るが如くなれども結局昨年と大差無かるべし、殘るは第一部(日本畫)の

🙤人選問題のみにして、聞く所に據れば今年は學者側より一兩名審査委員に加へる見込にて候補としては塚本靖博士、中川忠順氏等呼聲高く、技藝家側よりは下村觀山氏を美術院より拉し來つて面目を一新す可き畫策の由なるが肝腎の下村觀山氏煮わ切らぬ所から人選發表も自然遲延の狀態にあれど遲くも此處四五日中には確たる發表ある筈なりと

🙤近く開催の院展の相談會を谷中同院に開き橫山大觀、小杉未醒、木村武山の幹部連集合せしに獨り下村觀山氏のみ顏を見せず、同人間には氏の存意を暗默裡に認めたるも最早氏の自由意志に任すより詮なしと此問題には遂に何人も言及せざりし由之と同時に一方多年第一部審査委員として委員間に隱然勢力を有し居たる

🙤高島北海翁は突如その職を退きたり、その言分に「自分は最う寄る年波の、何日までも後進の路を塞いでゐるも本意無し、恰度委員の期限も切れてゐるから斷然今年限り退く、出品も勿論せぬ、自分が委員を辭したとて文部省では惜がりもすまい、俺はもう文展には用のない人間だ」と言ひ居れり(東京)

●二百十日

朝鮮では暴風雨の被害が尠い

來る九月一日は二百十日で穀類の豐凶は此の前後の天候の狀態で大體の想像が附くのであるから農家も商人も定期市場も此の厄日前後は頗る敏感をもつて[illegible]に惱むので居るが此の季節に

神が暴れ廻つて一年たりとも平穩の例のないのは寧ろ不可思議の感がする本年も二百十日に接近した昨數日來は一日數回も驟雨があつたり暴風雷鳴交々臻つて大抵南洋方面から琉球列島を經て襲來する低氣壓の影響に基く者であるが然し此れを內地に比較すると頗る不穩な者で

なるこ絞切型に雨神風

內地では此の二百十日前後になると七百十粍乃至七百廿粍位の深度の低氣壓が襲來する爲め暴れるは暴れるは樹木を折り農作物を倒して暴虐の限りを盡すのが朝鮮では餘り此の影響はないから農家に取つては倖である(仁川)

●別を惜て溺死

平安南道順川郡仙沼面巖岩里一統二戶韓歷扁の妻張氏十八年は八月十九日午前十時同村を距る五十丈同江沿岸より投身溺死せしが死因は夫韓扁が今回平安北道に鑛山夫として稼ぎに行くことに爲り二十日出立のことに成り居れるが張氏は數日前此話を

●最新の流行品

傘、杖、レインコート、靴

斯うでもない彼うでもないと日毎に移り變つてゆく流行界は、三日見ぬ間に新な物を生んで、昨日の流行も今日は既に顧みられない有樣、全く驚くの外はない事實である。

◆變つた日傘 製造元は亞米利加だといふ、地は白いレースで裏は桃色とか薄水色、而かも擴げた形はシャムら飴屋がさす傘とよく似てゐる見なれないだけ妙な氣がするがさて翳した心地は如何にも良い、柄が太いにも拘はらず輕く殘暑のキラ／＼した日光を避けるには持つて來いである、面白いのは柄に革紐や環が付いた朝顏形の日傘である形は從前のに比べるとズッと小さく恰も明治十七八年頃流行したそれに似てゐる、しかし感じは極めて良い、第一太くて短い柄が較や軍刀の形ちをしてゐるのは戰爭の大きな氣分を想はせる極めてハイカラなものだ

◆面白い散歩杖 これは籐或はシロ竹で造つてある、形の變つたのには僅か二十二時のものがあつて一寸小脇に抱へる趣向になつてゐた大佛樣の顏のやうなポッ／＼が金や銀で握りの所へ附いてゐるのもある、握りを革で包んで一見サーベルを想はせる物など捩り物の中で秀逸である、價は四圓位から五十圓位までであるが、良いのになると見惚れるやうな艶を持つた籐がある、これぱかりは和製では不可ぬといふ

◆レインコート オイルスキンの雨外套は、これまで米國や佛國のを輸入して間に合せてゐた、それ故價格も四十圓以上といふ高價であつたが、今度內地でそれが出來るやうになつた、しかし外國製のやうにベタ付く事がなく、一寸羽織ると下迄の地が縞まで透いて見ゐるマントもあれば婦人用のコートもあり、コートには縞まであるから夕立の時などに一寸出して著るのに甚だ洒落てゐる、價は二十六圓、色は六色あり、靴にも色々のものが出來た、或る學者は云ふ「都會居住者は五十年を經ずして悉く腦病になつて仕舞う」とそれは土を踏む事が少くて、多くの人は石や煉瓦を踏んで歩くからだとの事だその故でもあるまいが

◆近頃の靴は 大抵底にゴムが附いてゐる一面にゴム底を用ひた白布の運動靴があつた、履いて見ると如何にも輕い、テニス、ランニング、一寸した散歩等には絶好のものだ、價はたしか八圓だつたと覺えてゐる、豚の革の赤靴といふのを見たのもこの時だつた、これはまた非常に頑丈なもので、優に二年間位は耐へられるとの事だ、禮式から云へば不可なるものでが、擽の時などに履いたら妙であらう

諸の砂

■惜れた萬引 靜岡縣庵原郡江尻町小野田銀次郎內緣の妻北川とよ(二六)は子供が眼病に罹つたのを加療したい爲めに靜岡市呉服町の吳服店で萬引して入質したことが發覺して捕へられた

■悲觀老人投身 茨城縣山町の枝松安左衞門(七五)は長男は家出して行衞不明となり身の持參先で保養を受けてゐるも悲觀の結果にまた老いて徒らへき所もないことを悲觀し二十日夜筆中遷口郡玉島村の海岸で投身した

■警察へ感謝狀 靜岡縣田方郡蓮川村菜[illegible]生れの土方山崎時次郎山田綱吉(四七)は兇器を振つての無頼漢とて村人の恐がり者なりしが此の間三島警察署で網吉が檢舉されたので部落一同の者は連判狀で警察署に多無類の感謝狀を寄贈した

■共に夜から夫婦 東京日本橋區蠣殼町大山郡太郎長女おき(一八)は美貌が役となりあらぬ噂を立てられ父母に叱られたから遺書を殘して家出し自殺すべく投身しかけてゐる所を山口縣人で早稻田大學卒業生今田次郎(二四)に救はれ二人は其の夜から夫婦になつた

■泥棒成金處刑 熊本縣飽託郡本山村役場小使(二八)は五年間に熊本市內外百六十五箇所から五千七百餘圓の金品を窃取し別莊を立て、泥棒成金を極め込んでゐたが此の間懲役十年の處分となつた

■天罰は卽當 愛媛縣三津濱町二見森太郎(三六)は二十二日夜實父菊次郎に植木鉢を投げつけた惡足元が狂つて傍らの井戸に墜落したのを巡査が出張して救護した

●總督府電話交換手採用 年齡十六歲以上二十歲以下にして電話交換に經驗あり身體强健京城市內に確實なる身元保證人ある者本採用す志望者は履歷書携帶總督府會計課用度係に出頭すべしと

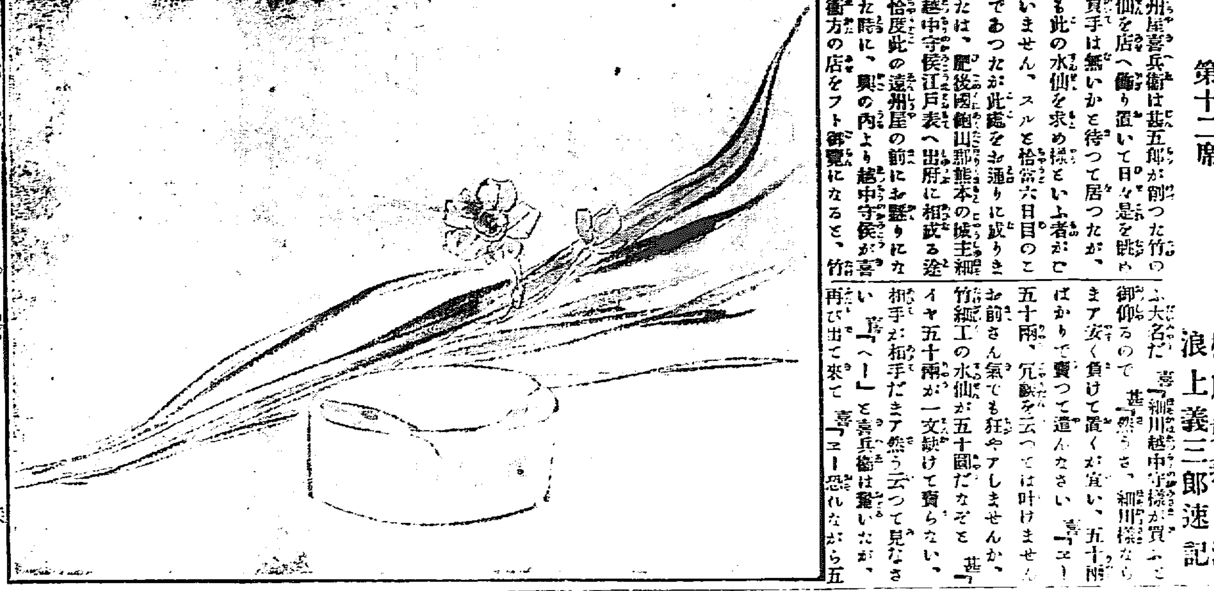
▲鮎のつけ燒 鮎を串にさして付け燒にこすりながら好く洗ひ貝をはがし腸を取り大切にへぎとり串へさし兩面を燒き醬油味醂の交合せしたる二度ばかりかけ燒いて器に盛ります

左甚五郎

桃川如燕口演 浪上義三郎速記

第十二席

遠州屋喜兵衞は甚五郎が創つた竹の水仙を店へ飾り置いて日々是を眺めて買手は無いかと待つて居つたが、誰も此の水仙を求め樣といふ者がございません、スルと恰當六日目のことであつたが此處をお通りに成りましたは、肥後國飽山郡熊本の城主細川越中守侯江戶表へ出府に相成る途中恰度此の遠州屋の前にお懸りになつた時に、輿の內より越中守侯が喜兵衞方の店をフト御覽になると、竹の水仙が水を吸上げまするのがお目に止つた、軈て本陣へ御立寄になつて暫時休息、御近侍を召されて何か御沙汰に相成りますと、早速遠州屋方へ御近侍の早川釆女が參りまして 釆「其方の店に飾りある竹の水仙をお買上げに相成るが、差上げるか何うぢや」喜「ヘエ有難う存じますそれはもうお買上げ下さるとあれば早速差上げまする」釆「代價は何程であるか」喜「左樣でムいますな暫くお待下さいまし只今聞て參りますから」と喜兵衞は奥へ飛んで來て 喜「若し／＼お客樣」甚「何だ」喜「誰もあんな物は價の付け人がなからうと思つて居ましたが、今不思議に買人が附きまして、あれは幾何に賣つたら宜いのですかね」甚「ウム然うか買主は何者だ」喜「買主はお大名樣です」甚「何といふ大名だ」喜「細川越中守樣が買ふと御仰るので」甚「然うさ、細川樣ならまア安く負けて置くが宜い、五十兩ばかりで賣つて遣んなさい」喜「エー五十兩、冗談を云つては叶けません、お前さん氣でも狂やアしませんか、竹細工の水仙が五十圓だなぞと」甚「イヤ五十兩が一文缺けて賣らない、相手が相手だまア然う云つて見なさい」喜「ヘー」と喜兵衞は驚いたが、再び出て來て 喜「エー恐れながら五十兩ださうでございます」釆「イヤそれは何うも洵に安いものだナ、宜しよし五十金遣はすぞ」そこは大諸侯忽ち五十兩でお買ひ上げになりました、さア喜兵衞が二度吃驚して甚五郎の座敷へ飛び込んで來た 喜「アお客樣お前さんに五十兩差上げます、是から何十日私共にお在なすつても決して差支はございません、それに就てあゝ御逗留なさいまし、それから、何うかあの水仙を澤山拵へて、お庭の竹藪を皆な切つてしまいますからお貰ひ申したいもので」甚「冗談を云つては叶けねえそんなに出來るものか、然し長いことお前の家に厄介になつた其禮として是は旅籠代に上げる」喜「御冗談を御仰つては叶けません、お前さんが毎日酒を飲んだつて幾升飲めるものではございません、普通にお貰ひ申すは宜しうございます」甚「それではお前さんに半分上げて俺が半分貰つて江戶へ行く旅用にする」喜「イエそんなに頂いては濟みません」甚「まア宜いから半分其方へ取つて置いておくれ」喜「何うも有難う存じます」甚「左樣でございますか」家內の者を殘らず呼まして『乃でな酒をドン／＼持つて來ておくれ』喜「ヘエ／＼畏りました」甚「乃で種々御厄介になつた是は些の俺の心付けで、少しばかりだが皆んなで分けておくれ」と金子十兩を遣はした、一同は大いに喜び禮を述べまする、翌日甚五郎は遠州屋を出立いたしました、喜兵衞を始め家內一同も甚五郎の技術には舌を卷て驚いた、此方は甚五郎濱松を立ちまして、ブラ／＼とやつて參りましたは江戶表高輪から大木戶、初めて江戶に來た甚五郎其の繁華なることに驚きました 甚「江戶は繁昌な處だと話しには聞いて居たが、成程」神社佛閣を禮拜をして日を重ねて參りましたは、何うも大した處だ」彼方此方を見ながら眞直に來たは日本橋通一丁目、大火があつた後でございまして、板圍があつて中は仕事場でございます、大勢の大工さんが頻りにトン／＼カチ／＼仕事をして居る樣子、ハテナ江戶の大工が大勢仕事をして居るが、甚だ腕の工合であるかそこは其の道で世を渡る人とて佇立で中の樣子を見て居ります。



夏季休暇中の處九月一日より稽古開始仕候 (京城明治町) 盛花家元 春道齋

暦 八月卅一日 九星 舊七月十四日 乙巳 本命 七赤 西 危 友引

▲七赤 義論百出の日新事見合南方は吉 ▲八白 好況の日轉居旅行商入に吉 ▲九紫 お爲ごかしの事有り [illegible] ▲一白 [illegible] ▲二黑 めでたき日[illegible] ▲三碧 氣に入らぬ[illegible] ▲四綠 [illegible] ▲五黃 [illegible] ▲六白 [illegible]

▲書籍御案內▼
德富蘆花 外交奇譚 定價二五〇 郵稅〇四
同 自然と人生 定價三〇〇 郵稅〇四
同 青蘆集 定價二〇〇 郵稅〇五
同 青山白雲 定價二〇〇 郵稅〇四
德富猪一郎 世界の變局 價二五〇 郵稅〇八
松本知 御前講談 價一七〇 郵稅〇五
桃川如燕 理想の家庭 價一五〇 郵稅〇八
民友社 撞球指南 價一〇〇 郵稅〇〇
玉乃 月江和尚錄 價一〇〇 郵稅〇二
京城日報代理部(振替京城三〇〇番)

▲山縣五十雄 村上唯吉共著 富の道しるべ 價十五錢 郵稅二錢 京城太平通京城日報社代理部 振替三〇〇番

新發見品 天然美身料 白美 如何に色黑き人も永久的に色白になる作用確實にして他品に優越す定價四十錢送料見本二錢 販賣元 三重縣名張町 粕谷商店

商業登記公告
右登記ス 大正六年八月武拾七日 光州地方法院 瑞興支廳

▲演藝案內
黃金館 電話二二六六 二三六七
大正館 電話八七三 櫻井町
浪花館 電話二六〇 明治町
有樂館 [illegible]
[illegible]

猿報

桃谷研究試驗所創製

美顏白粉

學者の創製したる完全無鉛白粉

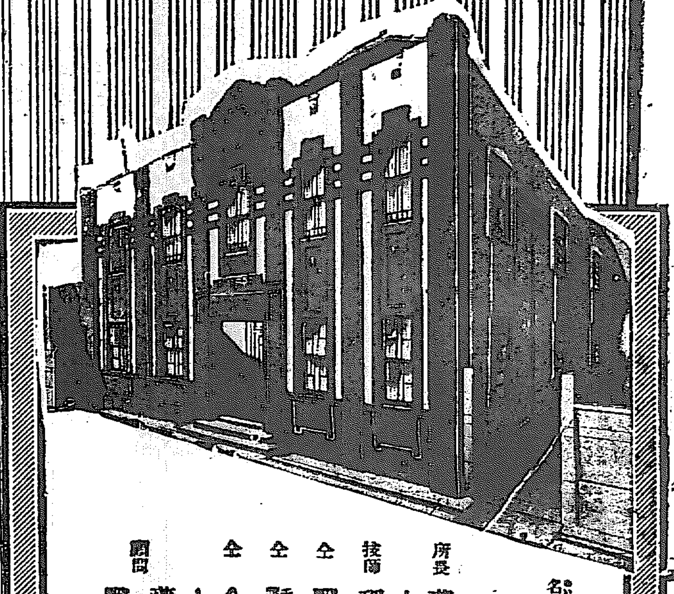
生れつき色が白いやうな白さに附く譯

一 從來の白粉より遙に色が白いからです。どんな白粉とでも比べて見れば分りますが、同じ白粉と言つても、美顏白粉ほど色の白い白粉はありません。

二 極めて美しい光澤があるからです。既にほんとうの白さがある處へ、此美しい光澤が加はるのですから、美顏白粉のお化粧の色艶は態とらしい色艶でなく、眞に迫つた色艶が出るのです。

三 被覆力が特に強いからです。被覆力が弱いと白粉のノリやノビも惡く、殊に白粉の色艶を充分に現しませんが、被覆力の強い美顏白粉は、其眞に迫つた色艶の美しさを、其儘お化粧顏に現させます。

四 分子が極めて細いからです。白粉の分子は細い程ムラが無く附くものですが、美顏白粉の原料には確に是以上無いといふ分子の細い原料が使つてあります。斯ういふ次第で、美顏白粉は高貴の方々始め、上中流御家庭にぜひ無くてならぬ化粧料と言はれて居りますのです。



名譽ある美顏白粉を創製したる
桃谷研究試驗所
所長 藥學士 桃谷幹次郎
技師 理學士 西澤勇志智
仝 醫學士 米倉昌達
仝 藥學士 小磯勝次郎
仝 仝藥學士 齋藤銳助
顧問 藥學博士 丹波敬三氏
醫學博士 山本淳二氏

京城日報　第三版
八月三十日
(夕刊と合せて八頁)

本紙定價　一部金二錢五厘　一ヶ月金五十五錢……
發行所　京城日報社
京城太平通一丁目
發行兼編輯人　奧田直毅
印刷人　小川三之介

李朝代々の實錄(四)

承政院=仁祖朝の改修日記=
朝報の話=羅萬甲の丙子錄=
日省錄=散逸の記錄

淺見倫太郎氏談

[illegible]朝報の如き[illegible]の取扱は直ちに歷史を記述するものにあらざれども〔世に[illegible]の著作物はそれぞれ消[illegible]の部類に屬すべし〕史料の一大[illegible]なる事實で李朝の實錄も此種類の重要なる史料である。更に此の實錄の材料となりたるものは日記であつて承政院日記は其中の重要なる史料である。實錄編纂の際には臨時の實錄廳が出來て日記並に各官衙の公文記錄を取寄せて前王の一代間に起りたる出來事を編纂するので、王[illegible]としての起居行動等は行狀若くは[illegible]するの例である。但し君主の地位[illegible]に重要なる關係あることは[illegible]

承政院といふ官衙は闕內に在つたもので別名を[illegible]又は喉院と云うて王の[illegible]王命を出納する所である。其上席を都承旨といひ左右承旨、左右の副承旨と注書、假注書といふ樣な官吏が居たのである其の日記であるから王の喉から出る記言の日記である。此の官廳は太祖壬申の設置だから其の頭から日記は在つたものだらうが今は仁祖以後の日記しかないのである、それでも珍らしいものだ。此の日記はなか〳〵浩瀚なもので先づ容積から云ふと幅一尺、長さ一尺二三寸、實錄の大きさより稍々小形なれども表紙は麻表紙で極めて無骨な帳面である而して內容は每日〳〵の出來事を日を逐うて記載したもので必ず晴雨をも記して居る。先づ一箇月一冊の割として三千四百九十八冊、二百八十八年間の連續した記錄である。

尤も此の承政院の日記は近代に至つて承政院、宮內府、秘書監、秘書院奎章閣等の所管となつた爲め日記の名稱も度々變更されたものである。但し承政院日記も二樣に稱すべきもので仁祖の元年(西曆一六二三年)明の天啓元年にはじまつたものながら肅宗元年まで九十九年間斷册數五百四十四冊と[illegible]改修された日記である。而してそれから以後は逐日注書官等によつて記載されたものである。其の改修東記には一々記事の出所を註として記してある。例へば『禁府日記、延興府院君日記、兵曹謄錄、吏曹謄錄、春坊日記その他朝報などからとつたといふやうなものもあり、また『以上謄錄に出づ』または『以上謄錄』などと註して居る茲に『朝報』といふのは李朝時代の官報の如きもので、何時の時代からかは未攷だが兎に角むかしからあつてよく大官の移動とか誰それがどんな上疏を出したとか言ふ樣なことを翌朝の朝報に出したものである。されば各大臣などの家では下人をして今の景福宮內の池の畔の建物にやつて其處に朝報の記載を草書の走りがきで手寫し取らせたものである。昔しの官報はこんな風のものである。其の官報を印布したのは開國五百三年甲午十一月二十一日の公文式からである。さてまた『承政院日記』の內容は如何なるものかといふと前申した通り二百八十八年間の日々日を逐うた日記であるから一面帳面同樣な觀もあるが私はその中の丙子役時代の顚末を覽たいと思ひ主にその部分を調べて見た。卽ち仁祖王の丙子十二月から丁丑正月の間の日記を拔いて見ると此の部分には『內下南漢日記より』として引用したところが見えた。此の『內下南漢日記』のとは羅萬甲の丙子錄として世に解はるものよりは稍々殊略なものであることを確かめるが能きたのである。これは歷史をやる御方の參考になることであると思ふから附言する

次に承政院日記の他に日省錄といふがある。これは前述の如く王も自由に覽ることが能きて、日々處分したことを其の翌日淨書することになつてゐた。年代は李朝第廿一代目の英祖の三十五年(西曆一七五九年)より李王の隆熙二年まで百五十年間の日記である。全卷二百六十二冊、他に序文別篇二冊ある。私は此の日省錄中では主として最近二十年前の『軍國機務所』の議案の顚末を見た。これは朝鮮に官報ある以前の事で世に擬括して編纂したものがないからである。

以上私は『李朝實錄』『承政院日記』『日省錄』の三つに就いて述べて置いたが此の他『內閣日曆』『[illegible]史日記』『公車文蹟』等に至りてはなか〳〵に浩瀚なもので、これ等の册數等に就いては先に刊行された總督府の圖書目錄にもあるので此處には省くが、兎に角從來秘密に取扱はれて誰れにも見せなかつたもので朝鮮人自から之を作りながら自から眼を掩うて見なかつたのである。吾人は歷史上最も重要な參考材料になるものと思ふ。此の他土地臺帳とか戶籍簿とか官廳の備品の目錄とか壯丁名簿とか役人の選叙簿とかなければならぬと思ふが、これ等は合邦の際引繼記錄中に在りや否や不明で或は完全に保管されて無かつたから今では跡方もなく散逸したのであらう。

日本と米國

=支那の事は、日本と協力する必要無し、と……=
ゼンクス博士は云ふ

○亞米利加でも、日本と米國とが力を協せて支那の開發をするが宜いと云ふ論者もあれば、何んの日本など頼る事が要るものか、米國は獨りで仕事をすれば宜いと云ふ論者もある。米國の經濟學者で有名な支那通のジエンクス博士などは日米協同反對論者中の錚々たる人で、隨分皮肉な議論をして居る。米國の『銀行雜誌』が最近に同博士がミルオーキー市で試みた演說の中から特に引用して揭げて居るが、それに依ると、ジエンクス博士の反對論の要旨は斯う云ふ事になる。

○今日の支那は近代的の頗る進步した邦國であつて、其の進步の度合は歐羅巴諸國の進步と同じ位である、近時の日本國民の發展は吾人の賞讃する所であるが、然かも過去十數年間に於ける支那の進步は、日本が顯著なる進步をなした如く同樣に顯著であつた。支那は此の地球上凡そ覺醒せる邦國と同じやうに覺醒して居る、支那は形體に於て然るよりは、更に一層精神的に眞に共和的であつて、近代的の進路を辿つて自國の事物を進めやうとして居るのである。

○日本人は過去數年の間、亞米利加人に評判の良いやうに、當識を得るやうにと、格別の努力を致して居つた。而して其の對支政策に關しては日本は米國の事業家をして支那の開發について一層の力を添へる事を納得させやうと試みた。と云ふのは、日本は支那に關する智識を供給するその代りに米國は資金を出して吳れといふのだ。支那人は金を持つて居たところで、自分で仕事を處理する能力を持たぬと日本人は多寡を括つて居たのである

○若しも、日本や其他の外國が、支那に對して侵略的行爲をやめ、支那の政策上にも、亦支那の法制上にも干涉をやめさへすれば、支那人は自分で自分の事を處理する丈けの力量は有つて居る筈だと云ふのが、支那に在りて支那人を最も良く知る人々の輿論である。兎に角、支那人としても、他の援助を藉りる必要がある位ならば、自分でそれを選む位の能力は持て居るのだ。なにも他人の指圖を受ける必要はない。

○米國人は日本人を介して仕事をする必要はない。支那人が日本人の助力を希望するのでなければ、米國は支那の開發に對して直接に助力を與ふべしである。日本人と支那人と双方共によく知つて居る者は、皆が支那人は日本人と同樣に能力を具へ且つ怜悧であると云つて居る。唯だ日支兩國の主なる相違の點は、日本は有力なる陸海軍を有するといふ事である、支那を言ひなりにして屈服させる爲めには、日本は恫喝と威壓を用ゐて居る。滿洲方面の、卽ち日本人が支配せる地方では『門戶開放』といふ事は、英米人の解釋とは違つた解釋の下に維持されて居る。

○支那人は日本を嫌つて居るのである。而して米國人として、支那の事について日本人と相談するといふ事は、自分で自分を邪魔する事になるのだ。支那に對して助力を與へ、自分にも利益があり、又極東に關係を有する總ての國民にも利益のあるやうに盡力する爲め、米國人は實に今好機會に接して居るのである。米人たるもの、其れ須らく[illegible]に而して

○ジエンクス博士の論者は右のやうなものである。隨分支那人を煽て上げたものだ。何しろ米國と云ふ國は偉い國で、南北米大陸の事は一切他人樣の御せつかいは御免を蒙むり、自分で牛耳を執らうと云ふ上に、更に支那の事にも、露西亞の事にも、ずん〳〵手を出さうと云ふのだからジエンクス博士などは自分の云ふ事がお少しよすぎるなどゝは思つて居らない(一記者)

探涼游草

秋風嶺　武田　香石

[illegible]影微、匹如鳥鵲向南飛。[illegible]王露溥溥接客衣。

評曰　[illegible]涼氣滿于紙上

[illegible]山曉望

抉桑杲日照紅輪、照破曉煙晴色新。絶影島搖青黛畫、十洲煙紗隱亦難真。

評曰　詩亦如畫

釜山晩望

隱屛一劃別開寰、碧水淮奇涼滿灣。晩自龍頭山上望、三千里外白帆還。

評曰　寫景閑適、有物外趣。

東萊二首

山高水潤絕塵埃、地鎭北方三面開。別有靈泉人不老、徐生應道是蓬萊。

江產鮮鱗美可茹、地無俗態欲移居。靈泉浴罷呼紅友、先上麗羞香在魚。　江東以來

評曰　二首意切本地、無一語泛說、有聲有色。

海雲臺三首

煙波浩渺望崔嵬、萬口一齊呼快哉。潮退沙汀鋪白玉、海風拂面送涼來。

滄波拍岸鷺飛回、松下斷杯月躍盃。千古風流跡遂遠、題文紀跡海雲臺。

千年遺蹟已塵灰、歌讀題文字是苦。憑弔詎勝絃誦地、淸遊偶客有餘哀。

評曰　海山明麗之狀、詩人通靈之感、寫出逼肖。

京日報詩壇(之)

○夏日江村　鶴見　雪堂

遙見白雨過前山、萬頃凉生楊柳灣。魚氣吹腥天欲暮、江頭欵乃釣舟還。

評曰　寫景精巧

誰(52)

布施生譯

東西屋は口上を續けて『御評判は御覽の上。先は筋書をお聞に達しまする』言ひながら右手の杖が絵扎の一つを丁と叩くと、今度は活辯といふ見得をして『畫面に現はれましたるは支那の貴族李佛家々庭の有樣でござります。中央に立つて居ります龐々太りの福々しい檀那樣、卽ち李佛家の御主人、其傍に孔雀のやうに飾りたて、鏡けるやうな眼容に主人を眺めて居られまするは奧方でござります。膝下には坊ちやん孃ちやん方がお五方、之は皆お二人の間に出來た情の塊、愛の種、家庭は圓滿天下は太平、之皆御亭主は女房を可愛がり女房は檀那樣を大切に致す、所謂夫婦相愛の結果でござりまする一つに映じましたるは色香衰へたる一人の婦人、鏡に向つて白髮を拔いて居ります。之を誰だと思召す、之こそ前の畫面に現はれましたる李佛家の奧方、如何なる天魔の魅入れかならぬ椿重ね、心の鬼に攻められて此頃道ならぬ戀に心を苦しめ、吾れ顏色何時か衰へ行き白髮は日々に繁りまする、しかも對手は年下の質は飛んだ惡漢でござります。』

『君、彼奴は一體誰だらう。』『分らんな。』『妙な事を始めやがつて何か趣向があるんだらうか。』『さあ。』こんな會話が見物人の間に取交された、言ふ迄もない壽老人の東西屋は保部夫人に聽かせるのが目的である、彼の苦心は實を結んだ、隨ましい口上と見物人の笑聲とは違くもない所に休んでゐる保部夫人の注意を惹いた、夫人は道化た其口上に耳を傾けながら時々片頰に笑を浮べた、東西屋は此樣を見て耶か不安らしく『はてな、こりや見込が違つたかな。』と心中に呟いたが、しかし演るだけはやつて見なければならぬ、彼は說明を續けて『さて三幕目でござりまする、戀に眼の昏んだ夫人は自分の取る年波が口惜しく年增姿では愛想をつかされるのを心配して金札切つて對手の心を繫ぎとめる心算になり、金の力で不義の對手の爲になる家柄を買取り立派な身分に仕立てあげて交際社會に紹介致しまする、不義の對手はそれから段々地金を現はし金を請求り、夫人はお定まりの金につまる、そこで追々小道具類に手をつけ始め手廻りの頸飾指輪腕輪金剛石眞珠次々に質屋の庫に消えてなくなりまする、男はしかも意地惡に質札は決して離さないと云ふのでござりまする。』此時飯部も喫煙室から出てきて傍聽者の一人となつた、保部夫人は突と立つて往かうとした老人は遂さず語を繼ぎ『結局可哀そうに此夫人最早遣る物もなくなりました、男はそれでも容赦なく今度は李佛家重代の寶物となつてゐる操玉石を渡せと强請まする、寶石は櫃の中深く藏めて夜も晝も兵隊の守衛嚴しく容易な事では中々取出す事など思ひも寄りませぬ、夫人は勿論此惡性男の請求を長い間拂斥け〳〵して居りましたが、餘りに迫られて有らう事か結局自分が手引してそれを盜ませる事と相成りました、畫面に現はれましたるは盜賊が二人長い內梯子を徐など傳つて逃出す所でござりまする。』東西屋は不圖語を斷つた、見物の中二三の人は保部夫人の介抱に走つた、夫人は將に氣絶せんとしたのである。

大阪三品特電　九月限　二八九三五
▲依然動かず　[illegible]
場　高値　安値　十九圓十五錢　十九圓十二錢　[illegible]

中學世界增刊
受驗界
高等學校入學試驗成績講評(各高等學校、試驗官十五敎授の英語、數學、國語、歷史各科目に對する親切なる講評)
海軍生徒採用試驗成績講評(採用委員主查、平田少佐の綿密なる講評)
成功せる高校試驗(受驗の新制度)……文學士
△最近の受驗界(四項)……
△試驗上手と試驗下手……一敎師
△海軍生徒試驗成績一覽表
各校受驗實記
各校入學試驗問題並に詳解(高校以下各校試驗問題に對し各專門家が分擔執筆せる各科目全部の模範的答案)
各校合格者名一覽
定價三十錢　東京本町　博文館

移轉廣告
小生儀今般左記の處へ法律事務所を移轉致候
京城大和町一丁目卅九番地(總督府總務部監下四つ角西入北側)
辯護士　松本正寬
電話一〇五四番
追て內地旅行中の處本日歸所致候也

廣告
謹啓陳者今般都合に依り當所調査係を京城南山町二丁目三十一番地當所京城出張所內に移し來九月一日より執務爲致候に就ては今後鑛山の賣買及調査に關する件は同所に御照會被成下候樣致度右御披露旁如此御座候也　敬具
大正六年八月
久原鑛業株式會社　鎭南浦製錬所

不動產登記申請用紙　販賣　見本添付御照會乞　卽時回答
京城明治町二　瀨川中央堂　電話二八九番　振替二〇四五番

急告
今般原料暴騰致居候に付不止得三割値上實行仕り候間何卒御承知相成不相變御用命の程伏して奉願候也
大正六年八月
朝鮮硝子製造同業組合(イロハ順)
京城古市町　畑兄弟硝子製造部
同　林町　小野硝子製造所
仁川　㊂硝子製造所
京城義州通　西大門硝子製造所
平壤　西鮮硝子製造所

千倍に稀したるアイセルを塵埃溜や下水に撒けば蠅や蚊の發生すると斷じてなし

會長　廣畑工學博士
入會の最好機
採鑛冶金學講習錄　會員募集
東京神田區大工町八　振替東京二三〇九六　採鑛冶金學講習會

京日案內
普通五十錢前金　番外[illegible]
▲申込は前金にて[illegible]　▲六回以上の御申込は特に割引　▲御照會は返信料[illegible]

簿記募集　男女生徒　短期卒業就職確實紹介　英語、法律、商事要項兼修　京城明治町二丁目　專修　京城簿記學校

看護婦二名入用　希望者は履歷書携帶來談あれ　仁川　小倉病院　500
看護婦及見習看護婦至急入用　姓名在社　486
醫院讓渡したし　京城市內に於て恰好の場所希望者來談又は書面　姓名在社　492
看護婦至急入用　希望の御方は直接本人來談あれ　本町二ノ四五(電話一八八〇)　山田醫院　493
店員數名至急入用　但し二十歲以下の者　身元保證人を要す　龍山鐵道構內　村田藥店　495
電話至急讓受けたし　電話九二四番へ通知を乞ふ　京城本町五丁目三六　丸富商店　498
嬰兒を遣し度し　生後三十日の健全なる男兒を御希望の方へ遣し度し　姓名在社　499
信用絶大　古本と古樂器高價買受　電話二三七本町　ウツボヤ書店　振替二三　394
店員入用　但し年齡十五六歲以上　京城永樂町　商品陳列館賣店　宍谷　490
中古ピアノ出物あり　貸オルガンも有ります　京城本町　ウツボヤ樂器店　電二三七　485
番外
店員入用　店員一名小僧二名　但し市內に確實なる保證人を要す　希望の者は本人來談あれ(但し經驗者は尙よし)　明治町一丁目　江草鍍金店　491
步兵七十八聯隊前　八月二十七日午後八時より九時迄の間に選失致候間若し御拾得の方は相當の謝禮仕り候　龍山元町二丁目　林岩三郞　494
店員至急入用　十七八歲より二十歲迄相當の心得ある者希望者本人來談あれ　京城本町五丁目　日月淸酒發賣元　丸富商店　497
鮮語科　新學期開始生徒募集　英語科　初等科新學期　各級補缺募集　九月五日始業　南大門通漢城銀行向　京城青年會　496
●礦物定量分析　太平町二丁目　朝鮮公論社左橫小路　坂元分析所　電話長三四四　462
恩給年金立替　月利一分　何年分でも卽時特別御便利に御相談可致候　京城若草町一〇一番　電話三一六　西村商會　438
間貸自働車　京城春川間　賃金片道四圓　京城水標橋通り　電話二一三八番　春川自働車商會　松田壽男　360

露國對米借款成立

今後とも財政上の援助を與ふべき旨回答す

露國は財政不如意の爲め戰爭不可能の狀態に陷り米國に對して借款を申込み米國は之れに對して應諾することゝなりしが二十五日米國々務卿ランシング氏より露國に對し今後充分財政上の援助を與ふべく決定せし旨回答あり爲めに露國政府の意氣大に昻り目下其の要請額の調査に着手し同時に戰線に送るべき軍需品は今後充分の保給すべき旨二十六日總司令官に通報したりと（露都電報）

獨逸の日米離間策

前駐獨米公使ゼラード氏日記の一節

前駐獨米國大使ゼラード氏は豫てデーリー、テレグラフ紙上に獨逸滯在中の出來事を記載しつゝあり最近の記述に於て獨逸が日米間を離間せんが爲め陰險なる陋策を弄したる記事を公にせるが其の要領に曰く獨逸人は上下一致して米國に對する日本の攻擊の如何に辛辣且つ危險なるかに就て米國人を納得せしめんかと努め墨西哥には日本の陸軍將校集合し米國には日本の軍事探偵入り込み居れりと說述したり（倫敦電報）

在獨支那人財産差押

ブランデンブルグ司令官は獨逸在留支那人所有財産及び銀行預金に對し差押への命令を發したり（倫敦電報）

蒙匪軍鐵道破壞計畫

蒙古の蒙匪軍は日支露三國の協定にて糧道を絶たれ困難の餘り大掠奪を爲さんとしつゝあり又彼等は露國が常に支那の意を迎へて蒙古軍に不利益を與ふるを怨み復讐のためサロンの廢道及び東清線の破壞を計畫し居れりとの報あり（奉天特電）

黎元洪氏の天津行

黎元洪氏は二十八日朝北京を發し特別列車にて天津に赴き英國租界の自邸に入れり（北京特電）

孟督軍地位危ふし

吉林督軍の地位危く張奉天督軍は自己勢力扶植の爲め二十師長吳光新氏を其の後任たらしめんと政府に運動中なり（奉天特電）

朱慶瀾氏辭職

朱慶瀾氏は今回免職を辭し香港に赴きたり（廣東特電）

馮麟閣近く特赦

馮麟閣氏は愈々近く特赦さるゝことに決定せりとの情報あり（奉天特電）

補助艦艇建造隻數

海軍省にて八八艦隊の編成に要する補助艦艇を大正七年度より同十年度迄四箇年間に建造することゝし七年度豫算に計上せし其の經費總額は約一億四千萬圓にして建造すべき艦艇の種類隻數左の如し（東京特電）

巡洋艦四隻▲驅逐艦大型四隻▲同小型二十四隻▲潛水艇三十二隻▲其他特務艦

朝鮮兵器製造所長任命

東京砲兵工廠官制中朝鮮兵器製造所追加に伴ひ二十九日左の如く所長の任命發表ありたり（東京特電）

陸軍砲兵大佐　近藤平三郎

免本職補東京砲兵工廠朝鮮兵器製造所長　東京砲兵工廠熱田製造所長陸軍砲兵中佐　北川正太郎

民政署設置協議

二十九日午前九時首相官邸に開かれたる定例閣議に於て青島民政署設置に關する件につき協議せり（東京特電）

哈市警察問題

[illegible]權を擁[illegible]にして同埠內は全く無[illegible]政府の狀態に陷り最近二個月間に起[illegible]露兩側と交渉せしめたる[illegible]等効果なきを以て商會は更に北京[illegible]を開き埠頭先づ租界內の無秩序にして[illegible]て支人財産生命の危險甚しきに對して已に保安の能力なしとすれば支那[illegible]は支那人民の生命財産に對する自衞[illegible]と露國側が果して之れが實行を承認すべきやは頗る問題なる可し（哈爾賓）

[illegible]場は暴騰に暴騰を重ねて殆ど天井知らずの觀ありしが支那沿岸筋に於て[illegible]

[illegible]勘は一層恐るべきものあるべしとの[illegible]觀察を下し支那人等は本月初旬に至[illegible]明かにて此後の相場を豫想するに二十六日大阪現物は三百三十四圓期近物は三百三十七圓を報じ[illegible]

商銀設立計畫

元山鮮人安貞壽、金炳愈氏等發起となり五十萬圓の資金にて商業銀行を設立すべき計畫あり六千五百株既に申込あり他の募株も希望者多く近く設立認可の申請をなす筈なりと（元山特電）

中村大將東上

新任軍事參議官中村大將は二十九日午後商船嘉義丸にて門司經山陽線路東上せり（門司特電）

矢鍋事務官赴任期

元山稅關長より總督府事務官に轉任したる矢鍋永三郎氏は九月三日赴任すべし（元山特電）

鮮人勞働者移入手續に就て（三）

朝鮮總督府參事官　臨野義雄氏談

▲鮮人勞力効果　抑も勞力が國民經濟に及ぼす効果の多少如何は其國に於ける勞力の數、勞力の品質及び其組織の整否等此等三大條件の如何に在る事は敢て余輩の喋々を俟たざる所也然れども之に關し母國の事は暫く措き今朝鮮に關する大體に就て觀察するに人口約一千五百萬中農業其他の勞働に從事する者約九割に近き關係上第一要件たる勞力の數に於ては如何に母國產業界發展すると遠き將來は知らず當分は供給不足を告ぐるが如き事無かるべしと信ず而して第二要件たる勞力の品質に就ては由來朝鮮に於て勞働を尊重するの氣風薄きのみならず反て飢ゆるも働くを恥づるが如き惡風潮に深染せるの關係上其發達は不充分にして殊に精神的熟練的勞力に於て甚だしきものあり然れども暫く訓練するの機を避けざるに於いては充分發達すべき要素を具備するが故に前途甚だ有望なり現に大正二年以來內地各紡績製絲其他工場に於て傭役中に係るもの等其の人員實に一萬餘を數ふるに至れるが何れも相當の成績を擧げつゝあるものゝ如し

▲結合勞力に適す　更に一言すべきは組織上に關しては分業よりも協力而かも結合勞力の方面に適するものなる可し彼等は率直從順なるを以て指揮宜しきを得ば如何なる方法にあるも決して不可能にはあらず但し目下の處持久力は比較的大ならざるが故に勞働の性質に依ては功程を昻め且勤勉の養成上由來高勞銀制を採る方其の効果多かるべしと信ず之を要するに以上三要素に於て甚しく缺陷なき而已ならず彼等は粗食其他極度の簡易生活に堪ふる等特長を有し且性從順なる等勞働者として主要素を具備するを以て雇傭主にして適度の指導と訓練とを施すに於ては精神的熟練勞力供給者として亦得難き性能を有せり之等は單に產業界の貢獻者として認め得べきのみならず若し故障無く目下の情勢を以て經過するものとせば更に又新附同胞を啓發し同化する上に於て或は社會政策に於て最も歡迎すべき現象ならずとせんや

▲雇傭主に望む　更に一言せざる可らざるは從來朝鮮人は獰惡不良の人種にあらず又無智低能民衆にも非らず教ゆれば能く學び導けば克く道ふの性を享け居れり唯多年秕政誅求の下に呻吟せし結果猜疑心深く宗教的な素養に至らざるもの多きは勿論殆んど權利義務の觀念なく又甚だしく利財上の智識に缺如せるは爭はれざる事實なり然も今や併合と共に爾後生活程度に向上せると同時に鮮民的教育漸く普及の好況にあり因て是等を探究するに多くは朝鮮人に對して內地人中失敗に終りたるものゝ主因は從來雇傭從僕其他の契約關係に於ける餘りに不良性のものとも若しくは低能視したるに胚胎せる事は歷然たる實的教育資料となり居れり

▲特異の事項　尙今日と雖も雇傭主として彼等指導上特に特異の事項として留意を怠るべからざる事は（一）稍々事大思想に囚はれ易きこと（二）同僚相黨くるの觀念に乏しきこと（三）稍々機敏を缺き放縱の嫌あること（四）勤儉貯蓄心に乏しき事（五）功利思想の發達顯著なる事（六）依賴心ある事（七）白丁（新平民）の如き一部の者には殘忍の性を有する事（八）種々の迷信深き事（九）從順にして慣れ易き事（十）祖先の墳墓崇拜及長者尊敬の念厚き事（十一）貞女二夫に見ゆることの信念高き事等其重なるものなり故に雇傭主たる者は彼等の性能を究辨別し之を導くに道理と慈愛心とを以て之に接するに誠と公平とを以てせらるゝに於ては克く慣れ從順にして朴直永く主從若くは師弟的美の關係を持續すべき可能性を有せり以上近時鮮人勞働者移入盛んなるに際し一言以て注意を希望とを述べたる次第なり（完）

道管區面積　全鮮

大正五年十二月末日現在其筋の調査によれば道管區面積總計一萬四千九百六十七方里、面數二千五百十七面洞里數二萬八千三百八十三にして之を前年度調査による總面積一萬五千八十五方里に比し百十九方里を減じたるは忠清南北兩道に於て四方里殖を增したるに拘らず江原道に於て土地調査の結果百二十六方里を減じたるが爲なり又面數の總計に於て前年度調査による二千五百十九面に比し二面を減じたるは京畿道に於て面の廢合を行ひたるに因るものにして四萬千六百四十八洞里に比し一萬六千二百六十五洞里を減じたるは土地調査により洞里の廢合を爲したるによる今各道に於ける管區面積、面、洞里數を示せば左の如し

	面積	面數	洞里（町數）
京畿	八二七方里	二四八	二、七三六
忠北	五八九	一一四	一、五〇九
忠南	五四四	一七五	二、二五〇
全北	五一九	一八八	一、七七八
全南	八八二	二七四	三、〇八六
慶北	一、二三七	二七二	三、二二七
慶南	八二四	二五九	二、六一二
黃海	一、二三一	二二六	二、〇五九
平南	一、〇六五	一六九	二、〇六一
平北	一、七八四	一九四	一、四四二
江原	一、八四六	一七八	一、九七七
咸南	一、九五九	一四二	二、九三七
咸北	七六〇	七九	七〇九
總計 大正五年	一四、九六七	二、五一七	二八、三八三
大正四年	一五、〇八五	二、五一九	四四、六四八
大正三年	一五、〇八五	二、五一九	四八、五〇四

特定運賃廢止

九月十日限り左記特定運賃廢止せらるべきにより荷物發送人は注意するを要す

一、釜山發尾道及馬關兼非常門、兵庫津、湊町、下の關、門司其の他院線連帶驛行鰛粕搾粕特定運賃

二、釜山發名古屋四日市、尾道、下の關、九州線行斤扱肥料特定運賃

三、釜山院線行鰛扱貨切扱肥料間釜門特定運賃

四、釜山發大阪神戶兵庫行斤扱乾魚特定運賃

度量衡交附狀況　京畿

京畿道管內に於ける各種度量衡器及び衡器の交附高及び販賣高を見るに本年一月以降六月迄の累計交附高は於て二千百十六萬七千百七十五圓此の箇數八萬五千六百五十一にして內販賣高は金額に於て二千九十一萬四千九十圓箇數に於て七萬四千三百八十四に達せり六月中に於ける度量衡器の交附高は全額百九十二萬七千五百五十圓個數三千九百七十三個にして內販賣高金額に於て二百七十六萬六千五百八十五圓個數に於て六千六百五十七個を算せり內譯左の如し

[illegible]

大黑山島漁況

全南道水產技師林駒生氏の語る處に依れば同道大黑山島方面の漁業は從來舊式漁法なりしも近時長足の進歩を爲して面目を一新し捕鯨事業の外鯖及びカスレ（ニベの一種）延繩漁業勃興し官憲の奬勵なきにも拘らず日本型帆船四十八隻を算するに至り益々增加の趨勢なり而して右延繩漁業の興りしは全く朝鮮水產組合のお蔭にして同組合全南支部は大正四年以來數回に亙り漁船型巡邏船一隻を以て鯖延繩漁業を試驗し鮮人漁夫を養成したるに非常なる好成績なりしに依り大黑山島及び同附屬島在住鮮人共は之を見倣び直ちに木浦にて日本型漁船を新造し從漁せしに何れも大漁ありたり然るに鯖漁季は春季より秋季迄にして冬季は同魚の回游なきに依り冬季間はカスレ延繩漁業を得て同島近海の周年漁業となすに至りたり而も一隻の漁利は七百圓乃至千餘圓に達し居れば今後益々發達すべく明春迄には日本型漁船六十隻に達すべく豫期され居れり尙同島近海を回游し居れる魚族は非常に豐富にして水深も十尋乃至廿尋內外なれば打瀨網漁場としては最も適當なるものにも拘らず未だ出漁船の影を見ざるは遺憾なりと

蔘業組合總會

三十日午後一時より總督府專賣課開城出張所內に於て第十四期蔘業組合定期總會を開催し組合員百四十餘名出席し總督府よりは度支部長官代理として平井專賣課長臨席大正六年度上半期の事業報告及び同期決算報告其他本年度より新に開始す可き各種事業並に豫算の追加案等に付決議すべく猶ほ平井度支部長官代理は組合員に對し一場の訓示を與ふ可し因に同組合は人蔘耕作者共同の利益を增進する目的の下に特別區域耕作者を團體として組織せるものなりと

化學工藝博　出品注意

來る九月二十日より東京上野に於て開催せらるべき化學工藝品博覽會に對し出品すべき朝鮮化學工藝品は總計六百點に過ぎざるより各方面よりの出品希望を滿す能はず當局にては之が拒絕に苦みつゝあるが既に大部分出揃ひとなりたるを以て來月上旬早々發送すべく出品手續を了せるものにて未だ現品を提出せざる者は此際至急商品陳列館に提出を要すと

滿鐵線工事　復舊

過般大出水にて多大の水害を蒙れる鴨緣江以北の滿鐵線路は目下極力復舊工事を急ぎ居れるが被害の最も甚だしき箇所は雞冠山頂堡間、開原金滿子間、大槍樹祭家間の三箇所にして何れも猛烈なる水勢の爲め線路崩壞し全く減水せる今日と雖も尙且つ水深約二十尺に達し其復舊工事容易ならざるものあり現在應急手段として假線路を敷設し被害箇所を迂回して開通せしめ居れる有様なり開原金滿子間は工事案外容易なれば今後四週間を經過せば全然復舊の見込あるも大槍樹祭家間は頗る難工事なれば竣工迄には多數の時日を要すべく或は本年中には竣工覺束なかるべし又雞冠山頂堡間は水害の結果地形變化し橋梁架設の必要生じたれども一箇所は約三十尺他の一箇所は約四十尺の小橋梁なれば開原金滿子間と相前後して竣工を見るに至らん尙ほ大小二箇所の水溜は排水到底不可能なるを以て埋渠を決行するより他に復舊の方法なかるべしと以上の全復舊工事に要する經費は最初約六萬圓內外の見込なりしが其後調査の結果約十萬圓を要する見込みなりと（安東）

畜産組合設置

朝鮮重要物產同業組合令に由り今回牛の生產賣買及び賣買の仲介を業務とする畜產同業組合の設置を其筋より認可せられたるもの左の如し

▲名稱 長城郡畜產同業組合 ▲地區 全羅南道長城郡一圓
▲名稱 杆城郡畜產同業組合 ▲地區 江原道杆城郡一圓
▲名稱 淮陽郡畜產同業組合 ▲地區 江原道淮陽郡一圓
▲名稱 寧越郡畜產同業組合 ▲地區 江原道寧越郡一圓
▲名稱 金化郡畜產同業組合 ▲地區 江原道金化郡一圓

秋山東拓技師消息　紐育

米國大農經營狀況視察のため出張中の秋山東拓技師は五月二十三日沙都上陸以來加奈陀の晩香坡合衆國の桑港、サクラメント、ソートレーキ、シカゴ、イセカ等十七八の主要地を經一月二十四日紐育に到著元氣旺盛なる旨消息ありたり

人事消息

▲佐納第三郎氏（大阪商船會社長）二十九日入京南庄へ

▲赤星鐵馬氏（成瀬赤星合資社主）東京本店より二十九日夜入京已に京城支店へ

百聞百種

歐洲大戰の齎物として最も顯著なものは自動車及び航空機の發達である▲米國のフォード會社では本年五月中に製作した自動車數は實に八萬三千臺に達し▲一日平均三千二百臺一分間に二臺宛に當り六月十四日には二百萬臺製出祝賀會を催したとある▲此外オーバーランド會社マクスウェル會社なども一箇月一萬臺以上製作して居るから計すると非常な多數に上るであらう▲獨逸では又政府事業として墺匈國勃牙利、土耳其三國に亙る空中交通連絡計畫を立て▲去る五月九日維納に開かれた航空大會には特に陸軍航空隊の重鎭ツチ！デ中將を派遣し▲空中連絡計畫及び空中交通法典に就き協議せしめたが航通用としてはツエ、リンを用ひるか飛行機にするか今以て未定であるが早晩實現されるだらうとのことだ▲近頃成金とて云ふのが出來た相な▲其れは四苦八苦して算段した金で成金然としてホテルなどに泊り込み▲大盡振りを見せて威張り散らす▲其實斯う見せかけて於て泊り合せた異物の成金連と近づき▲信用せしめて巧みに商賣上に利用するとは呆れた連中だ

病間寄懷吉堂先輩　天彭

大海猶看兵氣熾。茫茫四海唯塵煙。知君痛下賈生淚。起舞濟時書一編。西風颯颯滿江波。一病連秋感慨多。潦英雄今不起。廢屏好唱白雲歌。

（予兼聞吉堂之病故近狀以謝云）

朝鮮諸官廳受驗叢書　▲全部完成

京城專修學校教官　安達大壽計著

▲諸官廳受驗　受驗提要　全一冊
▲受驗必携　朝鮮公文解釋　全一冊
▲受驗必携　朝鮮六法要論　全一冊
▲受驗必携　朝鮮行政法規大意　正續全二冊
▲受驗必携　朝鮮諸官廳會話譯文速成　全二冊
▲受驗者必携　前高等普通學校教官　作文軌範　全一冊
▲受驗者必携　法律問答　全一冊
▲受驗者必讀　法律講義（大倍）全一冊（特價七十五錢）

以上定價金各四拾錢　送料各一冊金四錢（法律講義は送料六錢）

本受驗叢書は專ら朝鮮に於ける諸官廳受驗者の爲に著述したるものにして從來提出せられたる各種試驗問題は勿論今後に於ける試驗問題として適切なる事項は全部之を網羅し而も當局者の方針に極めて明確なる模範的の解答を施したるものなれば受驗者として此等の書に備へ[illegible]

賣捌所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部

サッポロビヤホール　カフエー、エビス（エビス軒）

玉突大競技會

陳て改築擴張中の處今般全部落成致し最新式王臺二臺据付け器具萬端凡て新調致し先づ朝鮮に於ては稍々完備せる撞球場と相成申候に就ては此際一應御披露旁々來る三十一日、一日、二日の三日間斯場に於て理想的玉突大會相催し度尤も從來の競技會は賞品を目的とし稍々競技者の射倖心を挑發する傾有之心ある人士の御來會を妨ぐる處有之候に付き本競技會は賞品を第二とし專ら競技者の眞の技倆を戰はし度存申候何卒斯場の微意御洞察の上奮て御來會被下度此段御案內申上候

一時日　來る三十一日、一日、二日毎日午前十時より午後十二時迄とす
一入會費　金五拾錢
一競技費　一回毎に金五拾錢
一優勝者　三人突五回勝を優勝者とす　但し五回目は四人突とす
一優勝者決戰　二日午後七時より開始す
一持點　平素の六掛とす
一タッチボール　一切放さゝるものとす　但し兩タッチは隨意とす
一玉觸　一切嚴禁す
一賞品　當日會場に陳列す
一特別賞品　最優勝者一人に限り名譽の彰表としてサッポロビール會社より特別賞品の寄贈あり
一紛議　の生じたる時は幹事の意見に絕對服從すべきものとす

以上

大正六年八月二十九日

主催者　サッポロビヤホール　カフエー、エビス

幹事　中野、三好、池田、村井、吉田

……を取締る警察は十四方に潜匿する馬賊等は之れに乘じて白晝公然掠奪めに支那側の被る損失は一千二百餘圓に達する由にて遂に柔順なる支那商等も生命財産の危險に堪ふる事能はず同埠商務總會より濱江道尹に方處、郭省長は前科市多朗都護の蕗孫氏を譯員王某と與に派遣し劉氏は二三日前王道尹と與に東清鐵道會社に對りホ長官に對して正式交渉の損害を免る可きやに就き詰問せるにホ長官は自分も此事に關し常に痛心に堪へざるも如何ともする能はずと答へたれば劉氏は貴國警察にし……の平定するを待ち再び貴國の管理に交還せんと欲するか如何と提議せしにホ長官も大いに贊意を表したり

客月中に於ける大阪市場の綿絲布相……天に於ける綿絲布市界は目下取引全く杜絶の狀態なるが是れ實に稀有の珍事なり今最近の經過を摘記すれば……放を開始したるより大阪市場に於ては却て逆轉を見るに至り相場は初めて下向となり爾來一高一低を持續したるより一般に稀場の斯く狂奔せる反……る者も現はれ遂に本月中旬後は全く取引中止の姿に陷りたるなりされど支那商等は需要期の全く切迫するに伴ひ永く斯る狀態に居る能はざるや……き事無かる可く目先支那商等の採算を來たす可きなきを保せず其際綿絲布界は更に活勢を來たすならんと觀測さる(米天)

●「火事？」と唯一語 電話で呼べば

火災報知機の設備の無い京城では切めて斯して火災を減じたい 國澤京畿道警務部長談

相手の消防所が出て來る 自動電話は料金は要らぬ ▲▲▲九月一日から簡易になる火災報知方法

九月一日の京畿道警務部告示で京城市民が火事を消防に知らせる簡易な電話方法が公布される筈だが之は公衆の爲郵便局、所が其の勞を執りて其の代りに知らせる人は殆んど手數を要せず消防も從來よりも一層

敏速に火事を知り

得ることゝなつたのであるのであるから市民が此の方法で迅く知らせをするだけ消防の効果が顯はれる譯で其の告示文は

一、電話番號を稱ふる代りに「火事」と呼び相手方の出でたるとき其火災の場所を報知すること

二、郵便局、所の電話に依り報知を爲さんとする場合は火災の場所を局、所員に告げて之を依頼すること

三、自働電話に在りては番號の代りに「火事」と呼び引續き火災の場所を告ぐること

今之を説明して見ると第一は加入者が其の電話に依り又は加入者に非ざる者が加入者の電話を借りて知らせる場合で以前ならば番號を稱へて呼出を待ち若し話中であると尚待たなければならなかつたのであるが

今度は番號を稱ふ

るに及ばず受話器を外づし例に依つて交換手が何番へと問ふた時唯「火事」と一言明瞭に云ひさへすれば其の電話は消防に接續されて話中などの故障はなく直ぐに話しが出來るのであるから報知者は相手方が出たとき其の火災の場所を知らせればよいので第三の自働電話で知らせる時も受話器を外づして交換手が出たならば矢張番號を稱へずに前の通り「火事」と云ふて今度は相手方の出るを待たずに

直ぐ其の交換手に

火災の場所を知らせれば自然消防に通ずるのである併し若し交換所の都合で先方相手方を呼出したら其の相手方に話しをするのがよい普通に自働電話を掛けると『料金をお入れなさい』『出ましたからお話しなさい』などの合圖があつてから始めて通話が出來るのであるが右方法に依る火事の知らせには

そんな合圖もなく

料金にも心配は要らぬのである第二には通り掛か又は局、所附近の人が郵便局又は郵便所に駆け込んで知らせる場合で此の時は自分で電話を掛けるのでなく局、所の受付口か又は便宜の場所から局、所員に火災の場所を告げれば局、所員が直ぐ之を消防に傳へて呉れるのである勿論料金は要らぬ

斯樣な方法を設け

ることになつたのも京城にはまだ火災報知機の設備もなく家屋に比較しては消防の設備も不充分であるから市民に斯樣な要求をして出來るだけ京城市内の火災の被害を減じたいのである

●藤公の墓前に朝鮮の發展を報告

過般來鮮したる荏原郡教育視察團の團員から

故伊藤公が吾が朝鮮發展史上の大恩人たる事は今更言ふ迄もないと同時に故公の墳墓が東京府荏原郡大井町に在ると云ふ事も世人は能く知つて居る筈であるが先般同荏原郡の教育視察團一行が哈爾賓滿洲方面視察を終て去月十一日京城に入りしを機とし

▲松永道長官 は視察團員の一人であつた同地大井小學校長小倉龜太郎氏に託するに故公が統監たりし時代より已に年を經る十有二年其間朝鮮の文物制度は急速の進歩を遂げ往年とは全く面目を一新し實に隔世の感を持つ朝鮮の現勢を故公の墓前に報告する事を以つてした、所が今回一行が十六日無事歸東後右小倉校長は

▲故公の命日 たる二十六日を卜し生徒への報告的視察談を兼ねて故公墓前に發展せる朝鮮の現勢報告式を擧げたと言ふ事である、誠に美しい話ではあるまいか朝鮮開發に餘念なかりし故公の神靈蓋し悦霜さるゝ事多いであらう

●元面長の奇特 細民の租税を代納す

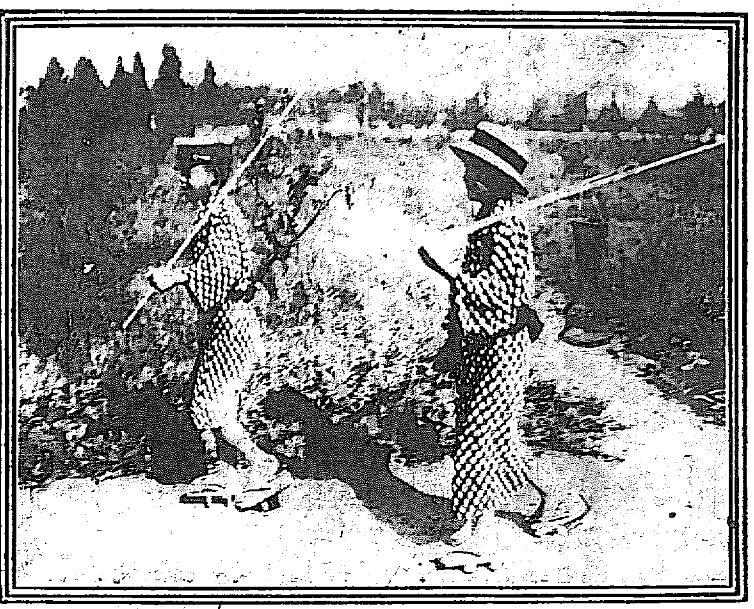
全南飛鵝面居住元面長朴源贊氏は附近にて名望高き富豪なるが近來の物價騰貴に伴れ細民の困窮其極に達し租税の收納も滯り勝ちとなれるより其金額百五十餘圓を代納し與へたる由にて奇特の事と云ふべし

●嬰兒殺し發覺 世間の風評を厭ひて

全北井邑郡所聲面里岩里禮順事金姓女(二十三)は昨年九月十七日午前五時頃男兒を分娩したるが孀婦の身とて情夫との仲に出來たので世間の風評を厭ひ遂に該兒を殺害したる事此程になつて發覺し二十六日井邑分隊に引致されたり

●錦山の洪水被害

過日の洪水にて全北錦山郡の蒙りたる被害調査報告に依れば死人五名負傷七名家畜溺死及び流失四頭家屋流失二十二戸田埋沒流失千零五十四反同浸水一百十五反畑埋沒及び流失五百九反九畝同浸水七百四十九反宅地流失五十五反道路破損二千八百四十六間所同埋沒及び流失九十二箇所堤防破壞三百五十七箇所同決潰二百六十二箇所橋梁流失五箇所其他數所に小被害ありたりと



◇魚釣りに

櫻御殿

豫告通り某大家の執筆になりし新小説は本日朝刊第四面より掲載

●神吉源之助逝く

朝米界の名物男として知られたる神吉源之助氏二十八日病死したり(大阪特電)

●賊は元巡査補

去る八日全南光州萬屋旅館に投宿中の各郡主任書記の室内を襲ひ金時計及び現金百餘圓を奪へる賊あり捜査の結果元光州署巡査補金聖君嫌疑者として捕へられたるも金は自白せず清水檢事金宅に臨檢嚴重調査の結果屋根裏より時計及び現金を發見し時計サックは二十七日萬屋旅館裏樹下に埋めありしを發見し愈々同人の所業なること判明檢事局へ送られたり

京城の電話 當局は何をしてゐる

電話に就ては獨り京城に限らず東京でも大阪でも加入者の交換手に對する不平の絶えないのに困つたことである、是に就て郵便局長の意見を叩く曰く

常に京城郵便局でも電話交換事務に就ては尠なからず當局者が頭を惱ましてゐる、近來是に就て

◆**改善を** 加へたこと又は現今準備中であつて一兩月中に實施しようとする事柄を擧ぐれば、ざつと左の通りである。元來郵便局では加入者から注意を受けるまでもなく絶えず改善の方法を講じてゐるのであるから、電話交換上に關して不滿足な加入者は何うか一度交換事務の實況を觀た上で仰つしやつて貰ひたい、それは電話事務に就ての御小言の中には隨分加入者の

◆**誤解に** 基づく事が多いからである。現在京城局の加入者に取付けてある電話機は共電式といふ最新式のものであつて、東京でも一部分の局では之より遙かに劣つた舊式のものを使用してゐる始末であるから、加入者も大に注意して器械を取扱つて貰ひたいものである。併し乍ら此の精巧な電話機も年を經ては古くもなるし又京城の樣な空氣の乾燥し雨季に到ると

◆**濕度が** 俄かに增大する處では極端に室内の電話線が其影響を受けて故障を生ずる事が著しいのである。そんな場合には得て通話が他に漏れたり何かする場合が多い、それ故昨年來エナメル劑を塗つた布を巻いた線を用ふる樣にして雨季にも種々の手數とを之に費して多くの經費と故障を漸く防ぎ今春理想的のものになつた譯である。其から隨分番號を

◆**交換手** が間違へるとの苦情を聞くが、局に於ては極力交換手に注意し常に實例を擧げて戒飭してゐる次第であるから此の點は大に諒さして貰ひたい、而して番號を間違へることは纔に穴を取り違へることは殆んど稀れで多くは聞き違ひが主なる原因である、是れに就ても局では極力注意して受話器を完全にするは勿論、交換室を

◆**靜肅に** し又た交換手の氣の散らぬ方法をも取つて其の誤りを防ぐ手段に努めつゝある次第である而して從來京城局の交換室は隨分狹いもので、漸く七、八尺を隔てゝ市内交換機と市外交換機とが相對して裝置して在つたが、市外交換機では、中には隨分遠方と通話をすることもあるし、又天候の模樣などにより忠州、長湖院等と通話すると隨分

◆**通話が** 低くなるので、覺えず大きな聲で通話をする、其の爲め交換室が自然騷々しくなるのは止むを得ぬ、之が爲め市内の交換室に居る交換手の聲も自然高くなつて、益々騷々しくなるのみならず又た他の交換手の種々な調子の聲などが耳に入るので、自づと交換手の氣分が散る、從て間違ひが出來易いので、夫が爲め昨年來大に交換室を擴張して今年五月に漸く市外交換機を市内交換機から遠方に移轉し又從來天井の低かつたのを高くして交換手の

◆**氣分を** 稍々爽快になる樣にしたので、此の點に對しては或る程度迄救濟が出來る樣になつたのであるが、此等は第一局舍の構造から改めて懸らねばならぬし、又此の交換機の改良を謀ふ事は、隨分厄介なもので、比較的大規模な仕事であつた(つゞく)

●鐵道家族娛樂會 二十九日午後七時より[illegible]

◆新羅の舊都に遊ぶ（七）

鮑石亭悲劇の一幕＝天官寺の由來＝新羅八百八十寺

五道踏破旅行記者 李光洙

◇甄萱景哀王を弑して敬順王を立て飄然と北に去る、曾つては武烈、文武兩王に從ひて、百濟高句麗の兩强國を蹂躙したる新羅人も、僅か二百年も經るか經ぬに、眼のあたり己が國王を弑されて默したり。王無道なるか抑も人民無情なるか、何れか王臣ならざるべき、甄萱も亦是新羅の民、夫れ天に替り民に替りて道を行ひたるなるか其より數年を出でずして後、高麗の太祖となりたる王建手兵五千を率ゐて、敬順王と都に會し、[illegible]の間に王は斷甲斐なくも千年の天下を擧げて王建に捧ぐ、文武共に天下に鳴りたる新羅の人民も、王建の德を慕ひて再び敬順王を思ふ者さへなきぞ是非もなき、一人哀れなる王子のみ、天に徹する怨を含みて一張の琴を抱へ山に隱れ去る、如何許長き間、彼の絃は窮りなき怨恨に鳴りしぞ。

◇此より南方には、景哀敬順、兩王陵及び阿達羅王陵等ある由なれども日已に暮れたれば後日に讓ることとし歸途に就く

◇校村と月南里との間に、金庾信の遺墟及び天官寺の跡あり、庾信少年の時好んで娼家に遊ぶ、一日母庾信を前に立たせて、其の不心得を責むる嚴なり。生れて男子となる、宜しく文を修め武を錬り、以つて國家の棟梁となるべきに、汚はしき娼女に戯るゝは何事ぞ。涙ながらの慈母の訓戒に庾信も感涙に咽びて、再び娼家に足を入れざるべきを誓ふ。其の後の或日、庾信醉うての歸るさ、乗馬は彼を運びて行き馴れし舊路に進み娼家に入れば、娼且欣び且怨み垂泣して出で迎ふ、庾信之を悟り馬を斬り鞍を棄てゝ歸る、女怨詞一曲を作り之を傳ふ、寺は其の家にして天官は彼の女の號なりと云ふが傳說の語る所にて候。

◇八百八十寺と云はれし新羅の都の寺々には、夫々面白き縁起あり、傳說あり、虎願寺の傳說の如きは、尤も面白きものなれども、此處に述ぶる遑なきは遺憾に存候。

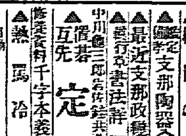
◇黃昏時旅館に歸る、冷水を浴びて一休すれば、愈々身體の疲勞を感ず、思へば一日の間に於いては五里程を歩きしに過ぎざれども、時間に於いては上下二千餘年の間を彷徨したる譯にて、我古人にして古を見たるにや、熱病に罹れる者の如く頭腦惑亂して睡遊の狀態にある如く候。一寸歡迎會に出席、交際上手の稱ある梁郡守の高話を拜聽して歸る、昔ならば、奉德寺の人聲(巨鐘)正に三更を報ずべき時なれども寢られず、明日は佛國寺へ行かるるのだ、石窟庵の佛樣が拜まれるのだ等あどけなき想像に耽りつゝ筆を擱き申候(八月十八日夜慶州にて)

購買入札 鐵板(十枚モノ)三百枚外六點 右購買ス詳細ハ大正六年八月參拾日以後ノ朝鮮總督府官報ヲ見ヨ 朝鮮總督府

生徒募集 各學年共缺員あり入學を許可す 詳細は本校に付問合せられたし 私立京城女子技藝學校 (京城南大門側電話一七八九番)

最新刊
▲顧世の中 三宅雪嶺 一、二〇〇
▲支那陶器全書(全四冊) 大西林五郎 三、五〇〇
▲最近支那政變寫眞 北京通信社 六〇
▲書法詳解 石川雲蝶 一、〇〇〇
▲圍碁定石新法 中川龜三郎・右佐藤共著 定價一、〇〇〇
▲熱罵冷評 高島米峰 一、〇〇〇
▲修養資料千字本義解 會田賀 五〇
▲自働主義綴方敎授革新 河野清丸 七〇
▲朝鮮語法及會話 ……府編 二三〇
▲最新文章辭典 大町桂月 七五
大阪屋號書店

眼鏡製作 今般眼鏡製作工所開設仕り候に付ては從前よりも一層急速及價格低廉を以て御用命に應じ申す可く候間御引立の程願上候
九金細ズル 九金新線ナワ 十四金同 十六金同 二十金同 廿二金同 十八金線ナシ玉付 米國製金張玉付



銀緣 赤銅 赤銅 鐵 植物 獨乙玉 メニスカス クリ山玉 サツク 各地方より御注文の節は代金引替にて直に御送附申上可候 眼鏡各種 京城本町一丁目(郵便局前) 中村メガネヤ 電話千百十七番 振替京城三四六番

りん病 ばい毒 請合藥 京城南大門外 大阪ドラッグ商會朝鮮總本部

京城長谷川町七九(電話七三番) 内科 外科 小兒科 花柳病科 安東病院 特に肛門病診療 毎日午前中に限る

入院隨意 電話二六〇・一八〇〇番 京城永樂町二丁目(商品陳列館裏門通) 酒井婦人病院 院長 酒井一郎

比較は最良の撰擇法なり!! サクラ正宗 サクラ正宗 京城明治町二丁目 山邑京城支店 電話一八四 四五九 四九番 振替京城五七番

外科 内科 一般花柳病科 皮膚病科 普通及隔離病室完備 診察夜九時迄 京城旭町一丁目(本通り左に入る) 島崎病院 電話二七三六番

朝鮮總督府法定消毒藥 アイゼル液 無比の防臭作用と殺虫力を併有す 京城 井上藥品部

捕鳥用カスミ網 五間モノ金四圓 三間モノ金二圓四十錢 京城永樂町二丁目 電話三一四番 振替四三八番 吉備商會製網部

御待兼の九月新音譜賣出

日本蓄音器商會 京城本町二丁目二九

天下渇仰の名著愈出づ 牛 岡本米藏君著 七十七版 正價壹圓 賣捌所 京城太平通一丁目 京城日報代理部 東京市本町 博文館發行 取次所 京城本町一丁目 大阪屋號 巖松堂

「牛」の著 岡本米藏君新著 簞笥

櫻御殿

第一回　大阪　霞の家主人

清洲城（一）

秋の初風が冷々と簾の裾を動かすと、庭の異萩に露が溢れて、その珠の一つ一つに大空の星を宿す、何十萬石の城の奥にも秋風は淋しく吹き入りの氣は滅入りて、近頃は營鈕の音も絶ね、双六貝合せの催しもなく、切めての心遣りに焚く香の烟が徐かに襖を漏れるを見る、取り分け主の福島左衛門太夫が、徳川家康の會津攻（會津の城主は上杉景勝）に先手をうけたまはつて、前つ頃出陣した後であるから、一層寂寞を極めてゐる多く居る奥女中も、夫が出てゐるか、兄弟が供をしたか、一人二人の親類を戰場に送つてゐぬものはない、から、殊に福島左衛門太夫が、豊太閤の爪の端を殘した者であり、加藤、黑田、淺野の諸家と共に、二といつて三と下らぬ家柄であり、太閤恩顧の中では、最も勢力を持つて居たゞけ、太閤薨去の後は一層物淋しさを感じてゐる、そこへ此度の會津攻めその會戰はいふまでもなく徳川家の勝利に歸するであらうと推量しながら、それでも多少の不安はある、その不安が暗となつて、來る日も〜奥殿を暗ふ彩る。

その時福島正則は、尾張清洲二十萬石を領してゐた、清洲は織田信長發揮の名城で、豊公にも由緒が深い所謂東海の守鎮であるから、そこに城主をして居る丈けで、正則の勢力が思はれる

「大變でござります、御方様、一大事でござります」

魂消しい聲をして、奥方の居間へ駈け込んだは、中臈の芳野であつた

奥方といつても正則の室ではない、子息備後守正之の奥方美知姫である

美知姫は家康の養女（實は松平稻葉守康之の女）で、例の籠絡主義から正之に嫁せたものである、脇息によつて歌の集を見て居たが、其様の聲に驚かされて、すぐ背後に侍つて居た上臈の浮橋を見た、浮橋は裲衣の襟をかき合せて、

「芳野どの、消魂しい、何事でござり申すな」と咎めて、

「合戰でござります、はい、上方が合戰でござります」

「何んとお云ひぢや」

浮橋は目が吊り上がる、美知姫の手から歌の集はハタリと落ちる、

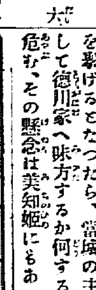
「石田治部少輔殿御謀叛、江戸のお城をお攻めなさるゝといふて、お勢揃ひを遊ばしたさうでござります」

「忝、忝。」と我目を信じぬやうに云つて「真かいの〜」

「ほんの事〜、たつた今上方から御注進でござりました、島津薩摩守、長曾我部土佐守、その外西國方の大名衆、大半御加擔と申すことでござります」

「マア、ほんかいの〜」と浮橋は目を圓うする。浮橋も芳野も、或る意味では間諜の役目を兼ねて、徳川家から付けられた女中であつた。石田治部少輔が旗を擧げるとなつたら、當城の主が果して徳川家へ味方するか何するかと危む、その懸念は美知姫にもあつた。

印章ゴム　版木彫刻　名刺印刷　京城本町一丁目　千代田號　電話九八七番　振替九八七番



日報俳壇

藻の花　花翁
舟の波に藻の花小さく顫へ居る　山粢房
公事解く間や花藻渦巻ける　同
青鷺
青鷺や江に臨む棟低き家　同
柿の花
立て掛けし物干竿や柿の花　同
蟬
眩突けば晝る机や蟬の聲　同
鮓
旅の夜の足なる鮓の翻さめあり　同
夏の蝶
砂丘下る花圃や夏の蝶若て　同
雷晴の庭廣う夏の蝶飛べり　同
夏の川
杭の鳥の眼鏡し夏の川　同
蝙蝠
怪異ある暗の井戸や蚊喰鳥　同
露凉し
朝戸訪ふ花屋の荷益さ露凉し　同
松葉牡丹
松葉牡丹露滴る不圖空を仰ぐ　默々
泳ぎ
泳ぐ一人に河廣々と夕焼す　同
行水
行水し々朝顏の鉢數ね居り　夢三
夏木立
赤煉瓦の家見ね始めな夏木立　健蕉
暑さ
雀啄む水光り居る暑さかな　拓川
凉し
庭の樹に月が掛れ居る凉夜哉　不二作
扇
法話砕けて一齊に動く扇哉　鳥岳

秋の句を募る　▲當分初秋雜題、句數を制限せず　●夏の句は選了次第順次發表すべし

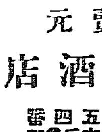
回一日一句
椅子に讀む父の浴衣やゆかくず　柴山子
汗タラ〜雨の晰此頃　瀾東
燒鮎の香高なし舟待つ間　浩一郎
杜若生けたる床や能烏帽子　白紅
赤煉瓦の教會堂や蟬の聲　魚骨

○沈香會句録
夏草
夏草に寢そべり宮螢の靈見ろ　有同
貸家札はぎとり夏草の門をあけたり　同
御堂こぼたれし一面の夏草　拓同
敷石固い夏草に犬が眠れり　同
夏草に觸れつゝ樒に添ひ行く　玄
夏草の姿れいらだつ眼の痛さ　同
温泉まで一里道分の夏草　歌津女
牛がぞろ〜闇の夏草　同
往診道ふ道だが新らしい氣分の夏草　同
赤い花が總るように夏草のなかゝら　山與水
われた待てる女の夏草に白いパラソル　同
釣り上げた魚のなかにも見つからぬ夏草　同
○振武會の土用納會に列して
樹蔭夏の玄庭銘刻し居る　玄對
涼獄めぐり夏草の一隊　玄
汗の香に和す竹刀の響かな　與水
デカイ獲物を主の川狩　同
洪水あふれし朝の魔響　山玄
梅樹のよに茂れ一の枝二の枝も　同
◎我同人岩瀬藤津子女史の出産を祝して
△北香會五月集の募集、課題、殘暑メ切八月三十日、大和町一ノ一九　藤井玄列苑

新刊紹介

▲お伽小槌（久留島武彦氏著）　朝鮮の坊ちやん嬢ちやんが御馴染の久留島先生が例の健筆を揮つて新らしき御伽話を起稿されたるもの、遠山の雪外七種の御伽噺は面白きこと無類にて殊に一々綺麗なる極彩色金版一頁大の挿畫を入れ裝幀美麗にして箱となしたれば上品な贈物としても亦適當ならん（一冊一圓五十錢東京牛込神田富山房）

讀者の領分



▲京城には名醫も澤山居られる様ですが、さて選擇しようとなると識に迷ひますので貴社を煩はし諸者自身なり家族なりがかゝつた醫師と治癒した病氣の名を記して理想的投票をして戴けますまいか人命にかゝはりひいては京城否植民地の隆衰に係はる重大事ですから極めて眞摯に御取り上げ下さい（本町二森村生）▲黄金町の裏通りの温突住居人は雪隱の構造なし土間へ穴を掘て糞尿の垂れ流し掃除した事がないには閉口（新入の内地人）▲青年僧の盛に辻説法をなす元氣は賞すべし六百九十六年前大聖日蓮に依りて建宗せられた純日蓮主義が上人滅後一派の法水敗れて現今の九教團と品派に限る本門佛立講に限るこは右意あらず正義の改革者たり然るを入然れども此等派祖は一宗の祖たるの不受不施派、不受不施講門派なり、なる即ち日蓮宗、本門宗、日蓮正宗法華宗、顯本法華宗、本妙法華宗手に持する旗印一○天四海皆歸妙法の日蓮上人の大理想に適するや既に宗門の名士に依りて日蓮宗は統一せられしに非ずや統一を久しても破壊する氣か斯る狹氣を去つての日蓮主義を鼓舞せよ此れ新天地の朝鮮に最急務なり辻説法者に覺醒を促す（一日蓮主義奉戴者）▲小權現足下於青島コンピラ礒のおはなし面白く拜見、しかし絶影島の名を牧の島に取變へたが惡いとのお説はいかゞのものにやなるほど前者は文字の上より見て美しけれど發音の上からは後者に及ばず兩方あつてもよいと思ふ尤も歴史家などから云へば別物なれど兎角世の物識り連が野暮臭いことを云ふに反し船頭などが風流を解してゐるが私にはうれしい（南山生）

▲打碁と要領（野澤竹朝氏著）　は しかきに曰く「碁はザウしたらば上かるでせうとは御素人連が異口一致して棋家にたづねられる問題である」が（中略）若し教授法宜しきを得ば案外容易に進歩するものである」とありて、斷道の秘訣を惜し氣なく說述しあれば若を習はんとする者には無二の羅針盤たらん（上下二册箱入一圓二十錢東京日本橋北勝町一〇大阪屋）

▲化學工業講話（島田譲一氏著）　みだしを見た所にては六づかしき樣なれど内容は極めて平易にして解り易く幼さ難も一讀して此の高遠なる學理を解し化學工業の大意に通ずるを得べし（一册一圓六十錢東京神田富山房）

▲支那研究資料（一の四）　支那に關する智識を普及せん爲め發行されしものにて時節柄一本を座右に備ふる必要あらん（一部一圓大連浪速町大雅社）

▲こゝ靈界（一）　一部五錢五厘島根縣松江寺町み九心靈術學會

●明治大學近況　同大學にては來る九月より法科商科及び政治經濟科各專門部の新學年始に大學豫科第二學期入學に付目下學生募集中なるが各專門部學生は之を正科特科の二種に分つも商科に於ては正科生のみに入學を許可する趣にて特科生及び大學豫科入學者に諸科政治經濟科上級編入試驗に九月八日擧行する由又同大學に附設せる高等豫備校に於ては今年高等商業高工其他各種專門學校入學の際にても多數の合格者を出せしが本月發表の高等學校入學試驗合格者の發表には第一部二九五第二部一六三第三部九八合計六百五十六名の由なるが新學期授業は九月十一日より開始すと

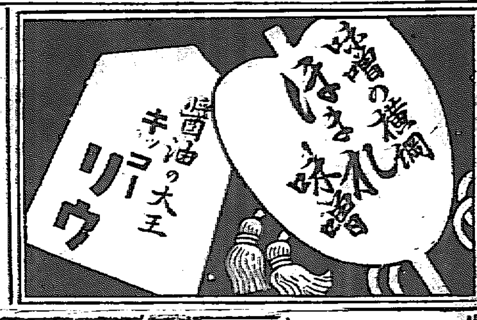
商況

大阪正米特約
（十月限・十一月限・十二月限の相場、前場・後場・引値）
▲二十九日前場大阪前正各地後場共米者にて安（以下判読困難）
▲取組高減少　二十九日の帳入にて十一萬二千三百五十石（以下判読困難）
▲正米の近情　（判読困難）
廿九日の十月限

賛化病院
京城明治町一丁目　電話二四番
內科　小兒科　入院隨意　無料施療す（毎日五名を限り）
醫學博士　古城憲治
岡山醫學士　上野亮藏

質
大口歡迎
京城黄金町長橋町入　電話二九一六番
商品擔保便利取扱
田村質店

新荷著　スヰツル製　懐中時計（アンクル鐵側）
懐中時計（▲印はラヂユーム入）
ニッケル側十八形　同十七形　同十六形　同十八形　同十九形　同十七形　同十八形　同十八形　百十形以上
腕巻時計（▲印はラヂユーム付）
ニッケル側十三形　同　同　同十四形　同十三形　同　同　同
右は今回新着の商品にて本商會の保證付にて御注文に應じ候
小包郵便にて地方の御注文に應じ候（代金引換）
時計、蓄音器、ミシン機械、自轉車、洋酒各國貨直輸入商
本店　京城本町二丁目　イングレツソール商會　電話九七二番



●マラリアに一番ヨククキクスリハ　龍山林薬房製剤の　マラリア特効丸
藥價　全十錢三十錢五十錢　▲郵税二錢
（ニセモノアリ御注意）
本舗　龍山京城本町二丁目　林薬房
代理店　合資會社　山岸天祐堂
釜山辨天町二丁目　代理店　大黒南海堂

資本金參百萬圓　明治三十八年設立
當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城府南大門通一丁目十四番地
株式會社　漢城銀行
長　男爵　李允用
專務取締役　韓相龍
電話　一六四六番　二三九番　振替京城一八二二〇五番
支店所在地　水原、平壤、大田、開城
出張所所在地　南大門、鍾路、東幕

內科　胃腸病科　診察夜九時迄
京城本町一丁目
石川醫院
電話一二三七九二・一二九番

銚子港　田中玄蕃釀造
ヒゲタ醬油
代理店　京城明治町一丁目
櫻正宗發賣元　山邑京城支店
電話八四九番　振替貯金京城七五番

資本金五百萬圓　頭取　安田善三郎
★　京城本町壹丁目
株式會社　百三十銀行京城支店
電話長五八番・一九三四番　振替貯金京城二一番
銀行一般の業務精々御便利に御取扱申候　爲換取組先は内地各方面並朝鮮樞要の地有之候

優等清酒

黄金町百九十一番地（若草町四ツ角）
發賣元　本莊酒店
電話六五四番　振替京城二六〇二番

瀬戸醫院
外科　皮膚科
京城旭町二丁目（舊三丁目）電話二四九八番
（診察夜九時迄）
醫學士　瀬戸潔

汽船釜山出帆廣告
門司、神戸、大阪行
和歌浦丸　九月十六日　後五時出帆
立神丸　九月五日　後五時出帆
山清、津、浦鹽行
和歌浦丸　九月四日　後十時出帆
立神丸　九月十五日　後四時出帆
元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三琴平丸　九月　日　後六時出帆
元山清津行
第三琴平丸　九月　日　後六時出帆
門司、宇品、神戸、大阪行
佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天眞丸　毎月二日九日十四日廿一日廿六日　午後十時出帆
本部　釜山港地立新町　取扱店　大池回漕部

尼崎汽船仁川出帆
群山、木浦、釜山、下關、神阪行
君か代丸　八月　日　後四時出帆
大有丸　八月　日　後四時出帆
秀吉丸　八月　日　後四時出帆
神代丸　八月　日　後四時出帆
▲印大阪直行
仁川港岸通三丁目　電話五十九番　高杉回漕部

日本郵船仁川出帆
大連行、太沽（天津）牛莊行
相模丸　九月廿八日
高砂丸　九月七日
三河丸　九月十七日　正午出帆
仁川海岸町一丁目　電話十二番　堀回漕部

大邱浦項間自動車時間
上り　浦項發…大邱着
下り　大邱發…浦項着
大塚農場自動車所
大邱出張部　電話一一七番

金泉榮州間自動車發着時刻
下り　金泉發・尚州・咸昌・醴泉・榮州着
上り　榮州發・醴泉・咸昌・尚州・金泉着
金泉電話四八番
織居自動車部金泉支部
▲小荷物運搬仕候

妻信子儀葬儀の際は遠路態々御會葬被成下難有奉存候此段以紙上御禮申上候
八月廿九日
親戚　淺木清一
　飯尾一郎
總代　井川常一
友人　鶴田網太郎
　伊藤勇次郎
總代　阪本良太郎

御佛具調進所
京城本町三丁目七七（花月前）
永倉佛具店
電一七一五番　長二九二一番

大阪商船仁川出帆
○外航路所開版第（道程縦覧を除く）開始の際は五日前に郵知を以て乗船券の發賣可致候
×神戸、大阪行
天智丸　八月卅一日　後二時出帆
△汕頭丸　九月十七日　後二時出帆
●南浦、神戸、大阪行
×汕頭丸　九月一日　後二時出帆
木浦、釜山、麗原、鄕の浦、長崎行
×安東丸　九月五日　後二時出帆
×安東丸　九月廿三日　後二時出帆
○横濱行
×汕頭丸　八月　日
△福州丸　八月　日　後二時出帆
○南浦行
×汕頭丸　九月十四日　後二時出帆
●鎭南浦、大連行
×安東丸　八月卅一日
×安東丸　九月十八日　後二時出帆
●西湖津、新浦、城津、清津行（元山出帆）
宮島丸　九月二十日　後十二時出
●清津行（元山出帆）
宮島丸　九月一日　後十二時出
●上海、基隆、打狗行（大連出帆）
湖北丸　八月　日前五時出帆
基隆丸　九月十日　後四時出帆
御注意
切符發賣所　大阪商船會社仁川支店
切符發賣所　内國通運會社京城支店
切符發賣所　仁川京城通り

共同汽船仁川出帆
波止場、鎭南浦、大連行
第廿六共同丸　八月卅一日正午出帆
本町四丁目（電話一七三番）
阿波共同汽船株式會社
仁川代理店　野口商會
元山代理店　田口回漕店
京城取次店　河村運送店

朝鮮郵船仁川出帆
○關門より釜山各地經由雄基行
但し×印あるは元原港寄港せず
京畿丸　九月二日
忠清丸　九月八日
成鏡丸　九月十七日
平安丸　九月廿四日
　釜山發
○元山より各地經由雄基行
京城丸　九月五日
鏡城丸　九月十六日
三浦丸　九月三日
　元山發
○浦潮行（元山より雄基湾津經由）
平安丸　九月一日　元山發
○元山長箭間
三浦丸　九月一日
鏡城丸　九月五日
咸鏡丸　九月九日
　元山發
○釜山元山間
慶興丸　八月卅一日
永寶丸　九月四日
　釜山發・元山發
○鬱陵島行浦項及各地經由
甘浦丸　九月一日　釜山發
○浦項行（長生浦方魚津甘浦九龍浦經由）
江陵丸　毎日　釜山發
襄陽丸
○濟州島行長承浦麗水巨文島經由
昌平丸　九月五日　釜山發
○麗水行（各地經由）
統營丸・巨濟丸　毎日　釜山發
木浦麗水間（麗水にて釜山行接續）
南陽丸・順天丸　三日目毎に　木浦發
○木浦より濟州島行各島經由
西歸丸・公州丸　九月五日
東萊丸・慶興丸　九月七日　木浦發
○多島海各島行
慶興丸　九月二日　木浦發
○木浦行（群山其他各地經由）
晋州丸　九月七日
麗水丸　九月三日　仁川發
○鎭南浦行（海州其他各地經由）
宗信丸　九月一日　仁川發
○海州行（江華島海州經由）
全州丸・錦江丸　毎日　仁川發
○青島行（芝罘、大連經由）
江原丸　八月卅一日　仁川發
但し三十一日は休航
本社　京城府南大門通　出張所、代理店
京城南大門通　荷客取扱店　松原運送店